

平成28年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2016.4-2017.3

目次

I. 事業報告

1. 企画展

「岡本太郎が愛した沖縄」展	1
「鉄道美術館」展	4
「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展	10
「第20回 岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展	15

2. 常設展

「岡本太郎と音楽—響き・不協和音」展	19
「岡本太郎—主題と文脈」展	22
「太郎の眼玉ダンジョン」展	26
「みんなが見たい！太郎セレクション2017」展	29

3. 記念講演会

「ダリオ・ガンポーニ教授来日記念講演」	32
---------------------	----

4. 共催協力企画展

5. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）	
寄贈作品・資料／作品額装／作品修復	
貸出作品及び資料	

6. 情報・刊行物

刊行物

7. 教育・普及事業

イベント・ワークショップ	
団体利用実績	
教育プログラム	
館外普及活動	
教材開発と利用	
美術館教育研究会	

8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

II. 資料

- 1. 入館者数統計 49
 - 平成 28 年度 月別入館者数
 - 年度別入館者数
- 2. 美術館事業 予算・決算概要 52
 - 予算概要
 - 決算概要

III. 組織名簿 56

- 1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会 委員名簿
- 2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要 57

- 1. 美術館の目的
- 2. 美術館事業内容
- 3. 美術館沿革
- 4. 施設・設備概要

V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則 61

- 1. 条例
- 2. 条例施行規則

I. 事業報告

1. 企画展

「岡本太郎が愛した沖縄」

会 期	2016 年 4 月 23 日(土)～7 月 3 日(日)
開催日数	61 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
協 力	沖縄テレビ放送、沖縄テレビ開発、東京シネマ新社、ショウエイ、 内田長志
助 成	公益財団法人三菱 UFJ 信託地域文化財団
観 覧 料	一般 800 (640) 円、高・大学生・65 歳以上 600 (480) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入 場 者 数	15,724 名
1 日 平 均	258 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	B5 版変形 報告書 A5 版
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	201 点
担 当 者	佐々木秀憲、大杉浩司



図録



チラシ



報告書

【開催趣旨】

岡本太郎は、1959 年 11 月 16 日から 12 月 2 日まで、沖縄を訪問し、各地に残る沖縄独自の文化に触れ、その印象を、1961 年には著書『忘れられた日本〈沖縄文化論〉』として発表した。同書の「神と木と石」の一節において、岡本は「沖縄」のシャーマニズム的な面について深い感動を開陳しました。

また、1966 年 12 月 24 日から 30 日まで岡本は沖縄を再訪し、久高島において 12 年に一度、午年に行われる女性だけによる神事「イザイホー」取材し「神々の島・久高島(沖縄)」を発表。

そして、岡本は、久高島での感動がさめやらぬ翌 1967 年 7 月、1970 年に大阪で開催された万国博覧会におけるテーマ展示プロデューサーに就任し、西洋近代合理主義には反する「べらぼうなもの」を造ることを宣言し、後の《太陽の塔》となる仮称《生命の樹》を制作することを発表しました。ここにも、岡本が「沖縄」での見聞を通して得た何かが確信としてあったものと考えられます。

上述した通り、岡本は二度の沖縄訪問を通して創作活動において大きな影響を受けたものと考えられる。本展では、岡本太郎にとっての「沖縄」とは何であったのかについて、岡本太郎が撮影した写真と沖縄訪問前後の造形作品を通して紹介しました。



展示風景

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- 「神秘的、独特な風土に魅了」（「岡本太郎が愛した沖縄 上」『読売新聞』2016年5月14日）
 「見過ごしがちな日常好む」（「岡本太郎が愛した沖縄 中」『読売新聞』2016年5月15日）
 「聖なる樹木 作品の着想に」（「岡本太郎が愛した沖縄 下」『読売新聞』2016年5月17日）
 「岡本太郎が愛した沖縄」『神奈川新聞』2016年6月14日
 「沖縄文化が刺激」『朝日新聞』2016年5月18日
 「岡本太郎 沖縄への愛」『東京新聞』2016年4月23日

【関連事業】

■タイトル

①琉球舞踊—古典と雑踊り

日 時 2016年5月4日（水・祝）14：00～16：00
 場 所 岡本太郎美術館ギャラリー
 出 演 川崎沖縄芸能研究会
 料 金 無料
 参加人数 200名



②記念講演会「岡本太郎の沖縄」

日 時 2016年6月5日（日）14：00～16：00
 場 所 岡本太郎美術館 ガイダンス・ホール
 出 演 安藤礼二氏（多摩美術大学准教授）
 料 金 無料
 参加人数 50名

③トーク・ショー「ドキュメンタリー『岡本太郎の沖縄』について」

日 時 2016年6月19日（日）14：00～16：00
 場 所 岡本太郎美術館 ガイダンス・ホール
 出 演 葛山喜久氏（映画監督）&山里孫存（映画プロデューサー）
 料 金 無料
 参加人数 75名

【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
1	沖縄写真 156 点	岡本太郎	1959	ゼラチン・シルバー・プリント	
2	沖縄（イザイホー関連）写真 30 点	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	
3	夜	岡本太郎	1947	油彩・カンバス	
4	マスク	岡本太郎	1959	油彩・カンバス	
5	裂けた顔	岡本太郎	1960	油彩・カンバス	
6	具現	岡本太郎	1961	油彩・カンバス	
7	黒い生きもの	岡本太郎	1961	油彩・カンバス	
8	風神	岡本太郎	1961	油彩・カンバス	
9	天空に我あり	岡本太郎	1967	油彩・カンバス	

10	石と樹	岡本太郎	1983	油彩・カンバス	
11	予感	岡本太郎	1963	油彩・カンバス	
12	明日の神話	岡本太郎	1968	油彩・カンバス	
13	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP	
14	神話	岡本太郎	1980	FRP	
15	夢の樹	岡本太郎	1983	FRP	
16	太陽	岡本太郎	1985	FRP	
17	未来を拓く	岡本太郎	1987	FRP	
18	「岡本太郎の恋した沖縄」(抜粋)	沖縄テレビ	2013	映像	沖縄テレビ
19	「沖縄・久高島のイザイホー」(抜粋)	東京シネ 新社	1978	映像	東京シネマ新社
20	「首里城と斎場御嶽」	内田長志氏	2015	映像	内田長志氏
21	「糸満ハーレー」	内田長志氏	2015	映像	内田長志氏
22	「竹富島の風景と弥勒」	内田長志氏	2015	映像	内田長志氏
23	「竹富島の種子取祭の芸能」	内田長志氏	2015	映像	内田長志氏

I. 事業報告

1. 企画展

「鉄道美術館 The Railway Art Museum」展

会 期	2016 年 7 月 16 日(土)～10 月 10 日(月)
開 催 日 数	75 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
協 力	鉄道博物館、東京都現代美術館、川崎・砂子の里資料館 株式会社ミヅマアートギャラリー、株式会社シンフォレスト 株式会社音楽館、小田急電鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社 東日本旅客鉄道株式会社、岡部憲明アーキテクトネットワーク ロールズ、関急車両、川崎工科高等学校
助 成	芸術文化振興基金
観 覧 料	一般 1000 (800) 円、高・大学生・65 歳以上 800 (560) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入 場 者 数	23,002 名
1 日 平 均	315 名
図 録	A5 20,000 部
ポ ス タ ー	B2 1,000 枚
チ ラ シ	A4 35,000 枚
出 品 点 数	155 点
担 当 者	大杉浩司、高野英江、橋本文恵、北川裕介



ポスター



ロゴマーク



展示風景

【開催趣旨】

本展は、機能から生まれる車両造形、街を繋いで広がる鉄道路線、緻密な運行システム、鉄道が織りなす街や自然の風景など、人々を魅了し続ける鉄道を美術の眼を通して味わう試みとしました。会場には、鉄道ならではのつながるをコンセプトに、岡本太郎作品、現代美術作家のパラモデル、市川平、原倫太郎、角文平、栗山貴嗣の作品がコラボレーションし巨大ジオラマとして構成しました。鉄道絵画のコーナーでは、歌川広重の浮世絵から長谷川利行、中村宏、山口晃、福島尚の作品。資料・映像のコーナーでは、今は懐かしい鉄道ポスター、時刻表、鉄道車両模型、トレインマークと佐々倉実の映像を展示。更には、夏休み期間に開催する展覧会として、ミニSL乗車体験やワークショプなど遊びを通じて鉄道を楽しむ関連イベントを開催し、子どもから大人までが楽しめる展覧会として多くの人々と鉄道の魅力を共有できる場となることを目指しました。

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

NHK 日曜美術館アート・シーン「鉄道美術館」 9月18日(日)放送
イツ・コミュニケーションズ「鉄道美術館」 9月12日(日)～放送
神奈川テレビ Love かわさき「生田緑地と鉄道美術館」8月20日放送
神奈川新聞「鉄道美術館」9月9日掲載
神奈川新聞「鉄道の魅力アートで」7月22日(金)掲載
東京新聞「鉄道の魅力にせまる」7月15日(金)掲載
雑誌カーサ・ブルータス「鉄道美術館」8月10日号

【関連事業】

■音楽と鉄道がいっぱい 向谷実 講演会

日 時 2016 年 7 月 18 日(月祝) 14:00～15:00
場 所 企画展示室内イベントホール
出 演 向谷実
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 121 名

■パラモデル公開制作

出品作家のパラモデルが作品「パラモデリック・クラフティ 2016」の一部を公開制作しました。

日 時 2016 年 7 月 16 日(土)～7 月 24 日(日) 10:00～17:00
場 所 企画展示室
出 演 パラモデル
料 金 展覧会観覧料のみ

■鉄道模型操作体験会

お気に入りの N ゲージ車両模型を選び操作を体験できます。

日 時 2016 年 7 月 24 日(日)、10 月 9 日(日) 10:00～17:00
場 所 美術館ギャラリー
出 演 関急車輛(鉄道模型同好会)
料 金 無料
参加人数 7 月 24 日(日)320 名 10 月 9 日(日)201 名

■第 6 回キッズ TARO 展—きっず・てつどうびじゅつかん

生田緑地にある蒸気機関車 D51 とブルートレインをみんなでスケッチし、作品を美術館ギャラリーで展示しました。

日 時 2016 年 7 月 30 日(土) 31 日(日) 受付 9:30 スケッチ 10:00～13:00
場 所 生地緑地中央広場
料 金 無料
作品展示 8 月 6 日(土)～8 月 26 日(金) 美術館ギャラリー
参加人数 7 月 30 日(土)30 名 31 日(日)21 名

■ミニ南武線乗車体験

川崎工科高校生が制作したミニ南武線に参加者が乗車します。

日 時 2016 年 8 月 20 日(土)、21 日(日) 11:00～16:00
場 所 美術館ギャラリー
出 演 川崎工科高等学校生徒
料 金 無料
参加人数 8 月 20 日(土)142 人 21 日(日)485 人



■ミニ SL 乗車体験

鉄道先生こと佐藤正純が手作した石炭で走るミニ SL の乗車と、蒸気機関車の仕組みや構造についての話を聞きました。

日 時 2016 年 9 月 25 日(日) 10:00~17:00

場 所 岡本太郎美術館母の塔前広場

出 演 佐藤正純

料 金 100 円

参加人数 252 人



■鉄道デザインとヒューマニティ 岡部憲明講演会

小田急ロマンスカーをデザインした建築家・岡部憲明氏に自らの建築家としての経験から車両デザインに対するコンセプトや経緯について聞きました。

日 時 2016 年 10 月 2 日(日) 14:00~15:00

場 所 企画展示室

出 演 岡部憲明

料 金 観覧料のみ

参加人数 122 人



【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵 (記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1	駆ける	岡本 太郎	1953	タイル	
2	花ひらく	岡本 太郎	1953	タイル	
3	遊ぶ	岡本 太郎	1953	タイル	
4	さよなら国鉄・新生 JR 記念メダルレリーフ	岡本 太郎	1987	FRP	
5	未来を視る	岡本 太郎	1985	FRP	
6	夢の樹	岡本 太郎	1983	FRP	
7	光る彫刻・生誕	岡本 太郎	1967	FRP, 蛍光灯	
8	飛行船	岡本 太郎	1973	FRP	
9	太陽	岡本 太郎	1985	FRP	
10	国鉄九州 - 生命。つたわる	岡本 太郎	1986	ポスター	
11	太陽の塔	岡本 太郎	1970	FRP	
12	躍進	岡本 太郎	1972	FRP	
13	マジカルミキサープロジェクト	市川 平	1989	ミクストメディア	個人蔵
14	ジェネリック・アートライン TOKYO UNIT LIFE	市川 平	1993	ミクストメディア	個人蔵
15	石の下の百足	角 文平	2002	鉄、コンクリート	個人蔵
16	転がる石	角 文平	2004	鉄、コンクリート	個人蔵
17	キリン	角 文平	2006	鉄、木	個人蔵
18	空中都市	角 文平	2011	鉄、木、鉛	個人蔵

19	一戸建てマンション	角 文平	2012	ステンレス、鉄、木	個人蔵
20	人間の巢	角 文平	2011	鉄、木	個人蔵
21	ブーン	角 文平	2005	鉄	個人蔵
22	東京動脈	栗山貴嗣	2016	ビニールチューブ、アクリル	個人蔵
23	ストレッチング・タワー	原 倫太郎	2007	木材、スチレンボード、モーター	個人蔵
24	コロコロ・ダイヤグラム	原 倫太郎	2016	スチールボール、テグス、モーター、アルミ、ベルト、木材	個人蔵
25	パラメトリック・グラフィティ 2016	パラモデル	2016	プラスチック玩具他	個人蔵
26	電車ごっこ	山口 晃	2015	紙、水彩	個人蔵
27	地下鐵道乃圖	山口 晃	2007	紙、ペン、水彩	ミヅマアートギャラリー
28	銀河鐵道	山口 晃	2006	紙、ペン、水彩	個人蔵
29	露電	山口 晃	2010	ミクストメディア	ミヅマアートギャラリー
30	露電考・車輛	山口 晃	2010	紙、鉛筆、水彩	ミヅマアートギャラリー
31	露電考・路線	山口 晃	2010	スチレンボード、鉛筆、ペン、水彩	ミヅマアートギャラリー
32	フレートエクスプレス(心象図)	福島 尚	不明	キャンバス、アクリル	個人蔵
33	旅先(JR 八戸線陸中八木駅)	福島 尚	不明	キャンバス、アクリル	個人蔵
34	川越の動脈	福島 尚	不明	キャンバス、アクリル	個人蔵
35	一番列車	福島 尚	不明	キャンバス、アクリル	個人蔵
36	機関車 C-11	福島 尚	不明	紙	個人蔵
37	ホッパ車灰石専用	福島 尚	不明	紙	個人蔵
38	ラッセル車	福島 尚	不明	紙	個人蔵
39	川越線クハ 209 系	福島 尚	不明	紙	個人蔵
40	東急東横線 7000 系	福島 尚	不明	紙	個人蔵
41	八高全線キハ 35 系	福島 尚	不明	紙	個人蔵
42	八高全線キハ 38 系	福島 尚	不明	紙	個人蔵
43	車掌車貨物専用(ワフ型)	福島 尚	不明	紙	個人蔵
44	有蓋車パレット運送	福島 尚	不明	紙	個人蔵
45	総武線三鷹～千葉	福島 尚	不明	紙	個人蔵
46	クハ 103-768	福島 尚	不明	紙	個人蔵
47	三陸鐵道北リアス線	福島 尚	不明	紙	個人蔵
48	機関車 D51	福島 尚	不明	紙	個人蔵
49	DD51	福島 尚	不明	紙	個人蔵
50	映像 日本の新幹線・特急 120 分	佐々倉実	2011	DVD	株式会社シンフォレスト

51	映像 日本の SL・ローカル線・佐々倉実 リゾート列車&More 120 分		2011	DVD	株式会社シンフォレスト
52	円環列車 A-望遠鏡列車	中村 宏	1968	油彩、キャンバス	東京都現代美術館
53	鐵道ダイヤ・F	中村 宏	2001-2006	油彩、キャンバス	東京都現代美術館
54	赤い汽罐車庫	長谷川利行	1928	油彩、キャンバス	鉄道博物館
55	北米合衆国水師提督ペルリ渡 来/節幕府へ献セシ機械図	高橋亮三	1934	油彩、キャンバス	鉄道博物館
56	汽車の走る風景	鍋井克之	1929	油彩、キャンバス	鉄道博物館
57	勝海舟筆 蒸気車運転絵	勝 海舟	1872	紙、墨	鉄道博物館
58	ガード	松宮左京	1877	油彩、キャンバス	鉄道博物館
59	高輪牛町隴月景	小林清親	1871	木版	鉄道博物館
60	六郷川蒸気車応返之全図	歌川広重 (三代)	不明	木版	鉄道博物館
61	横浜名勝競 内田町よりステ ンションの図	歌川国松	1880	木版	鉄道博物館
62	東都八景之内	歌川芳虎	1871	木版	川崎・砂子の里資料館
63	河崎鶴見蒸気車之図	歌川広重 (三代)	1872	木版	川崎・砂子の里資料館
64	六合神奈川横浜鐵道之図	昇齋一景	1872	木版	川崎・砂子の里資料館
65	六郷川蒸気車住返之図	歌川広重 (三代)	1871	木版	川崎・砂子の里資料館
66	六郷蒸気車鐵道之全図	昇齋一景	1871	木版	川崎・砂子の里資料館
67	鐵道案内 川崎(時刻表、運賃 表)	歌川芳虎	1872	木版	川崎・砂子の里資料館
68	東京開化名景競 品川蒸気車	歌川国政 (四代)	1874	木版	川崎・砂子の里資料館
69	東京蒸気車鐵道一覽之図	孟齋芳虎	1871	木版	川崎・砂子の里資料館
70	汐留より蒸気車通行の図	昇齋一景	1872	木版	川崎・砂子の里資料館
71	連合国軍用専用客車車内図 DINING CAR スシ 2216 SAVANNAH	黒岩保美	1946	紙、水彩	川崎・砂子の里資料館
72	連合国軍用専用客車車内図 SPECIAL CAR マイロネ 1703 JACKSONVILLE	黒岩保美	1946	紙、水彩	鉄道博物館
73	連合国軍用専用客車車内図 CLUB LOUNGE CAR オイ 2808 RED BIRD	黒岩保美	1946	紙、水彩	鉄道博物館
74	連合国軍用専用客車車内図 SUPERINTENDENT'S CAR マイネ 1904 ALGOMA	黒岩保美	1946	紙、水彩	鉄道博物館
75	連合国軍用専用客車車内図 CORPS COMMANDER'S CAR スイネ 1812 SAGINAW	黒岩保美	1946	紙、水彩	鉄道博物館

トレインマーク 鉄道博物館蔵

特急「さくら」、特急「へいわ」、特急「つばめ」、特急「はと」、JNR マーク、特急シンボルマーク、特急「こだま」、修学旅行専用電車「きぼう」、特急「ひばり」、寝台特急「彗星」、寝台特急「はやぶさ」、特急「ひばり」、特急「とき」、特急「はくたか」

路線図・時刻表 鉄道博物館蔵

1914 年鉄道院所属線路図、1936 年汽車時間表 4 月号、1939 年汽車時間表 4 月号、1955 年時刻表 8 月号、1957 年時刻表 2 月号、1960 年時刻表 11 月号、1962 年時刻表 7 月号、1964 年時刻表 1 月号、1964 年時刻表 10 月号、1970 年時刻表 5 月号、1981 年時刻表 5 月号、1984 年時刻表 3 月号、1986 年時刻表 11 月号、1994 年時刻表 1 月号、1997 年時刻表 3 月号、1998 年時刻表 3 月号、2001 年時刻表 3 月号、2003 年時刻表 5 月号、2005 年時刻表 11 月号、2007 年時刻表 7 月号、2008 年時刻表 4 月号、2009 年時刻表 5 月号 1000 号

ポスター 鉄道博物館蔵

駅風景(商店広告)1897 年頃、国有鉄道貨物運賃 1921 年、特急の名前募集 1929 年、特急列車に名前 1929 年、朝鮮へ満洲へ 1935 年、快速無比の超特急 1936 年、爽涼の北海道御巡遊に・便利な・割引券 1934 年、7 月 1 日より新設各特急 1937 年、鉄道開通七十年記念日 1942 年、鉄道写真コンクール入選発表 1951 年、ビジネス特急の愛称とマーク募集 1958 年、“所得倍増”をレールにのせて 1960 年、特急・急行大增発 1961 年、ディーゼル特急 白鳥号新設 1961 年、東海道新幹線 10 月 1 日開業 1964 年、国鉄第 3 次計画 車両をたくさん造って 1967 年、国鉄第 3 次計画 安全を確保するために 1965 年、100 円までの国電のきっぷは全部きっぷ自動販売機で買えます 1968 年頃、万能型のきっぷ自動販売機 1968 年、DISCOVER JAPAN 旅に出ると 心のふるさとがふえます 1970 年、DISCOVER JAPAN 美しい日本と私 1970 年、ナイターもすばらしい・夏の万国博大阪の宿もすいています 1970 年、美しい夜の万博を見てその日のうちに東京へ帰れる 1970 年、万国博は新幹線ひかり号で 1970 年、「人類の進歩と調和」も無事故から・・・1970 年、3 月 15 日新幹線岡山駅開業 1972 年、昭和 50 年。3 月 10 日新幹線・岡山―博多間開業 1975 年、いい日旅立ち-山口百恵 1978 年、いい日旅立ち 10 月 1 日新川崎駅・東戸塚駅開業 1978 年、エキゾチック・ジャパン 1984 年、4 月 1 日。7 つの JR が花開きます。1987 年、はじめまして。北から南から、新しい JR の顔です。1987 年、シンデレラエクスプレス 1992 年、Xmas express 1992 年、TRAiNG 1998 年、「11 月 18 日」(suica ポスター) 2001 年

企画展

「つくることは生きること 震災 《明日の神話》」展

会 期	2016 年 10 月 22 日(土)～2017 年 1 月 9 日(月祝)
開 催 日 数	62 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
助 成	一般財団法人地域創造、損保ジャパン日本興亜 「SOMPO アート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)
協 力	有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー、 株式会社フレームマン、エプソン販売株式会社、 GAMA ROCK
企 画 協 力	Wonder Art Production 復興庁平成 28 年度「心の復興」事業
観 覧 料	一般 900 (720) 円、高・大学生・65 歳以上 700 (560) 円、中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入 場 者 数	15,316 名
1 日 平 均	247 名
図 録	B5
ポ ス タ ー	B2
チ ラ シ	A4
出 品 点 数	39 点
担 当 者	片岡香、飯島祥平、高野英江



図録



チラシ



展示風景

【開催趣旨】

阪神淡路大震災から 21 年、東日本大震災から 5 年を迎えた 2016 年、熊本地震が起きました。いつどこで大きな地震が起こってもおかしくない日本。地震や津波によって、多くのものを失いかねない危うさの中で私たちは生きています。

地震によって引き起こされる多くの悲しみや苦しみの中で、創作や表現活動など、芸術やアートと呼ばれる活動は何ができるのでしょうか。

本展では、東日本大震災から 5 年を迎えた今年、東北の被災者やアーティストの作品、そして岡本太郎の代表作《明日の神話》を通してその可能性を問いました。

震災直後から被災各地へ赴き、創作活動を通じて被災者支援を行ってきたアーツフォーホープの活動と、そこで生み出された作品や人々の姿を紹介するとともに、被災後もそれぞれの視点から作品をつくり続けるアーティストたちの作品を展示。さらに、原爆をモチーフに誇らかに立ち続ける人間の姿を描いた岡本太郎の《明日の神話》を展示し、岡本が作品に込めたメッセージを東北に向けたまなざしとともに紹介しました。

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

「つくることは生きること 震災 《明日の神話》展」『産経新聞』2016 年 11 月 20 日

「つくることは生きること 震災 《明日の神話》展」『朝日新聞』2016 年 11 月 22 日

「芸術通し震災問う」『神奈川新聞』2016 年 12 月 6 日

「震災 5 年 アートの力とは」『読売新聞』2016 年 12 月 19 日

「つくることは生きること 震災 《明日の神話》展」『毎日新聞』2016 年 12 月 21 日

【関連事業】

■大久保愉伊 『ちかくてとおい』 特別上映&トーク

『ちかくてとおい』特別上映の後、本展の出品映像について、映像作家・大久保愉伊さんが語りました。

日 時 2016 年 10 月 23 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00 (開場 13 : 30)
場 所 企画展示室
出 演 大久保愉伊 (映像作家・『ちかくてとおい』監督)、高橋雅子 (ARTS for HOPE 代表)
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 46 名



■大久保愉伊 『ちかくてとおい』 特別上映

日 時 2016 年 11 月 27 日 (日)、12 月 17 日 (土) 15 : 00 ~ 16 : 00
場 所 企画展示室
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 のべ 42 名

■「つくることは生きること」トークイベント

東北で被災した出品作家に当時の状況とその後の作品制作についてお聞きしました。

日 時 2016 年 11 月 12 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00 (開場 13 : 30)
場 所 企画展示室
出 演 安藤榮作 (彫刻家)、片平仁 (アーティスト)、三瀬夏之介 (東北芸術工科大学教授)
ゲ ス ト 高橋雅子 (ARTS for HOPE 代表)
司 会 片岡香
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 36 名



関東で被災した東北 (宮城) 出身の出品作家に当時の状況とその後の作品制作についてお聞きしました。

日 時 2016 年 12 月 18 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00 (開場 13 : 30)
場 所 企画展示室
出 演 作間敏宏 (美術家)、平間至 (写真家)
ゲ ス ト 高橋雅子 (ARTS for HOPE 代表)
司 会 片岡香
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 29 名



■Miwako trio/かわさきジャズ 2016 & Shimva ライブ

東北の被災地での音楽活動を精力的に行うアーティスト 2 組によるライブイベントを行いました。

日 時 2016 年 11 月 19 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00 (開場 13 : 30)
場 所 企画展示室
第 1 部 Miwako trio/かわさきジャズ 2016 14 : 00 ~
出 演 Miwako trio



第 2 部 Shimva ライブ 15:00～
出 演 Shimva (福島在住のシンガーソングライター)
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 97 名

■「おどることは生きること」

宮城県塩釜市で 2012 年から開催されている GAMA ROCK FES。主催のお二人によるパフォーマンス&トークを行いました。

日 時 2016 年 12 月 11 日 (日) 15:00～16:30
場 所 企画展示室、母の塔
パフォーマー ATSUSHI (Dragon Ash)
音 楽 タブゾンビ (SOIL& ” PIMP” SESSIONS)
ゲ ス ト 平間至
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 121 名



■「ハッピードールをつくろう」

子どもから大人までの参加者が、東北や熊本で被災した方たちに贈るハッピードールをつくりました。

日 時 2016 年 12 月 3 日 (土) 13:00～16:00
場 所 ギャラリースペース
料 金 無料
参加人数 58 名



■「つくることは踏み出すこと」トークイベント

アーツフォーホープの東北支援について、活動の軌跡を紹介しました。

日 時 2016 年 12 月 3 日 (土) 14:00～15:00
場 所 企画展示室
出 演 藍原寛子 (ジャーナリスト)、高橋雅子 (ARTS for HOPE 代表)
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 22 名



■ギャラリートーク

担当学芸員によるギャラリートークを行いました。

日 時 2016 年 11 月 6 日 (土)、12 月 24 日 (土) 13:30～14:30
場 所 企画展示室
料 金 展覧会観覧料のみ
参加人数 のべ 43 名



【映像上映】

■岩井俊二 『friends after 3.11【劇場版】』 特別上映

岩井俊二監督が、震災以降に出会った人々、そして久しぶりに再会した友人と語る、東日本大震災に続いた福島第一原発事故後の「日本の未来」を綴ったドキュメンタリーを上映しました。

日 時 2016年10月30日(日)、11月6日(日)、20日(日)、12月4日(日)、24日(土)、1月8日(日)
各14:30~16:45

場 所 企画展示室

料 金 観覧料のみ

参加人数 のべ199名

■大久保愉伊 『槌音』、『つもるち』

大久保愉伊監督が、震災の被災地である故郷の岩手県大槌町を記録したドキュメンタリー他を上映しました。

日 時 会期中の毎日 9:30~17:00 (他のイベントの開催時間帯を除く)

場 所 企画展示室

料 金 観覧料のみ

【熊本関連イベント】

■川崎市における熊本地震支援紹介

川崎市が行った熊本支援の取組みを写真パネルで紹介しました。

期 間 2016年12月3日~12月25日(日)

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料



■南阿蘇鉄道チャリティ写真展

熊本地震により被災した南阿蘇鉄道を支援するチャリティ写真展「阿蘇へのかけ橋」を開催しました。

期 間 2016年12月3日~12月25日(日)

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料



■「くまモンがやってくるもん♪」

くまモンが来館し熊本県のPRをするとともに、川崎市の熊本地震支援の取組みや被災した南阿蘇鉄道のチャリティ写真展などを紹介しました。

期 間 2016年12月21日(水) 12:00~12:30、14:00~14:30

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加人数 のべ780名



■熊本物産展

本展会期中に熊本県アンテナショップと連携した熊本物産展を開催しました。

期 間 2016年12月3日~12月25日(日)

場 所 ミュージアムショップ

【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状等	所蔵(記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1	明日の神話	岡本太郎	1968	油彩、キャンバス	
2	方舟計画	東北画は可能か?	2011	綿布、アクリル	作家蔵
3	しきおり絵詞	東北画は可能か?	2013-	ミクストメディア	作家蔵
4	原発頭 ver. 4	片平仁	2016	フィルムにプリント、 アルミ複合パネル	作家蔵
5	鳳凰	安藤榮作	2016	木	作家蔵
6	約束のつばさ	安藤榮作	2016	木	作家蔵
7	天と地の和解	安藤榮作	2016	木	作家蔵
8	動刻	渡辺豊重	2012	アクリル、キャンバス	栃木県立美術館蔵
9	治癒	作間敏宏	2016	ガーゼ、ハウス用パイプ、 デジタルプリント、電球	作家蔵
10	光景 (10 点)	平間至	2011-2016	ゼラチン シルバー プリ ント	作家蔵
11	光景 (2 点)	平間至	2011	ゼラチン シルバー プリ ント	作家蔵
12	GAMA ROCK	平間至		インクジェットプリント	作家蔵
13	『稲音』	大久保愉伊	2011	映像作品 (23 分)	作家蔵
14	『ちかくてとおい』	大久保愉伊	2015	映像作品 (53 分)	作家蔵
15	『つもるち』	大久保愉伊	2016	映像作品 (15 分)	作家蔵
16	『friends after 3.11 【劇場版】』	岩井俊二	2012	映像作品 (132 分)	作家蔵
17	ハッピードール	アーツフォーホープ			作家蔵
18	ハッピーフラワー	アーツフォーホープ			作家蔵
19	ハッピーペインティング	アーツフォーホープ			作家蔵
20	生きる言葉	アーツフォーホープ			作家蔵
21	つくる人々	アーツフォーホープ			作家蔵

【岡本太郎撮影写真】

			撮影年
22	角巻きの女	岡本太郎	1957
23	横手かまくら	岡本太郎	1957
24	かまくらを作る少女	岡本太郎	1957
25	なまはげ	岡本太郎	1957
26	種畜場	岡本太郎	1957
27	鹿踊り/花巻温泉	岡本太郎	1957
28	鬼剣舞の若者/花巻温泉	岡本太郎	1957
29	恐山	岡本太郎	1957

企画展

「第20回 岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」展

会 期	2017 年 2 月 3 日 (金)～2017 年 4 月 9 日 (日)
開催日数	56 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館 岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、 中学生以下 無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	13,874 名
1 日平均	約 248 名
図 録	リーフレット A5 無料配布
ポスター	B2
チ ラ シ	長形ハガキサイズ
出品点数	26 点
担 当 者	佐々木秀憲、北川裕介、木下紗耶子



リーフレット



チラシ



展示風景

【開催趣旨】

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。

今年で20回目を迎える本賞では499点の応募があり、創造性あふれる26名(組)の作家が入選をはたしました。また最終審査を経て、太郎賞1名、敏子賞1名、特別賞3名が決定。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧いただきました。

【受賞者】

岡本太郎賞	山本直樹	《Miss Ile のみた風景》
岡本敏子賞	井原宏蒨	《cycling》
特 別 賞	井上裕起	《Salamander [F1]》
特 別 賞	黒木重雄	《One Day》
特 別 賞	あべゆか	《BE GOD.》



山本直樹
《Miss Ile のみた風景》

【関連記事・TV・ラジオ放送】

「岡本太郎賞に角砂糖の街」『東京新聞』2017年2月5日

「今を映す『角砂糖の街』」『神奈川新聞』2017年2月4日

【関連事業】

■出品作家によるギャラリートーク

日程・作家

- 2月12日(日) 鈴木伸吾、井上裕起、繪畑彩子、福本歩
2月19日(日) 奥村彰一、井原宏路、照屋美優、加藤真史、井口雄介、山本直樹、因幡都頼
3月12日(日) ユアサエボン、MYU mikki、山田弘幸、福嶋幸平、石野平四郎、ナルコ
3月26日(日) 岡野里香、黒木重雄、あべゆか、Scott Allen
4月9日(日) 工藤千尋、富田美穂、川上幸子、後藤拓朗、毒山凡太郎

場 所 企画展示室

時 間 各日とも14:00～

参加人数 各回とも約50名～190名

■お気に入りの作品を選ぼう！

展示されている26点のTARO賞作品の中から、来館者にお気に入りの作品を選ぶイベント。受付でもらったカードに付いている赤いシールを、企画展出口にある投票ボードにシールを貼って投票しました。

日 時 2017年2月3日(金)～3月20日(月祝)

場 所 企画展示室、ギャラリースペース

投票結果 1位 《Salamander》 井上裕起

2位 《人生はひまつぶし》 繪畑彩子

3位 《Vacancy》 加藤真史

■手紙プロジェクト「言葉でつながろう！」

来館者が、第20回TARO賞展の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙にして発信しました。書くことによって展示作品や展覧会を身近に感じることができ、ギャラリーへの掲示やファイリングを通して、来館者、作家が共有しました。作家からかえってきた返信もあわせて紹介しました。

日 時 2017年2月3日(金)～4月9日(日)

場 所 ギャラリースペース

■「URA TARO SHOW!! 劇団★死期が美術館をジャック!?!」

オルタナティブ人形劇団「劇団★死期」が、期間限定で美術館の音声ガイドやギャラリートัวร์を乗っ取り、人形たちが展示室を案内する他、オリジナル人形劇公演や特設ブースの設置まで盛りだくさんのイベントを行いました。

イベント期間 3月1日(水)～4月9日(日)

①音声ガイドをジャック!?!～地獄の学芸員が悪だくみ!?!～ヘッドフォンから謎の声が!～

劇団★死期オリジナル音声ガイドを貸し出しいたします。可愛い人形たちの声と一緒に美術館を巡りましょう。

日 時 3月1日(水)～4月9日(日)

料 金 300円(通常の音声ガイドも含まれます)

場 所 常設・企画展示室

②ギャラリートัวร์ジャック!?!～ガイドツアーも乗っ取られた?勝手に超現代美術編～

ガイドツアーはいただいた!アート探偵ゲンダイチコースケシリーズの人形劇でギャラリートัวร์。専門用語多め?お笑い要素も盛りだくさん!みなさんついて来れるかな!?人形たちがライブ感溢れるギャラリートัวร์を行います。

日 時 3月19日(日)14:00～、25日(土)14:00～

対 象 全年齢

場 所 常設・企画展示室

料 金 展示会観覧料のみ 予約不要

③TARO 賞ジャック!?!~URA TARO SHOW!!開催だ!想像せよ!~

お客様参加型の特設ブースが出現！そこでお客様からアート作品のアイデアを大募集。名作、ボツ、B 級、駄作、実現不可能、なんでも OK！ここではみんながアーティストだ！つくるのはたいへん？でも考えるだけなら出来そうだよ！

みなさんから寄せられたアイデアを人形たちが紹介するトークイベントも行います。

日 時 特設ブース：3 月 1 日(水)～4 月 9 日(日)
イベント：4 月 2 日(日)14:00～ (ゲスト：会田家)

対 象 全年齢

場 所 ギャラリースペース

料 金 展示会観覧料のみ 予約不要(先着順)

美術集団・オルタナティブ人形劇団「劇団★死期」とは？

美術家の岡田裕子主宰、会田誠を顧問とし、プロジェクトごとにメンバーを替え、美術館での実験的人形劇から、交流型野外パフォーマンス、書籍出版まで、多岐に渡る表現手法で変幻自在にアートとその周辺の境界線をまたぎ、実験を重ねる神出鬼没なパフォーマンス集団。2015 年秋、劇団★死期初の人形劇のノベライズである探偵小説「ゲンダイチコースケの事件簿」を刊行。

【出品リスト】

No.	作家/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
1	山本直樹 《Miss Ile のみた風景》	砂糖、角砂糖、光、音、センサー、観客	500×500×500
2	井原宏蒔 《cycling》	動物の糞、漆、麻布	150×500×500
3	井上裕起 《Salamander[F1]》	FRP、ウレタン塗料、発泡スチロール、等	80×500×160
4	黒木重雄 《One Day》	アクリル絵具・キャンバス	227.5×546×3.5
5	あべゆか 《BE GOD.》	油彩・キャンバス、他	300×500×500
6	井口雄介 《360》	木、鏡、キャスト	240×540×540
7	石野平四郎 《紅い波》	鉄、石粉粘土、FRP、樹脂塗料、アクリル塗料	400×450×300
8	因幡都頼 《平成炎上図》	紙に着彩、パネル、墨、水干絵具、岩絵具	100×360×3
9	繪畑彩子 《人生はひまつぶし》	シングルチャンネル・ビデオ・インスタレーション	200×400
10	岡野里香 《Myself》	半磁土、プロジェクター、アクリル板、椅子、その他	500×500×500
11	奥村彰一 《おてんば納涼図》	ポリエステル画布、墨、岩絵具	200×368×4
12	加藤真史 《Vacancy》	色鉛筆、紙	500×1500×1
13	川上幸子 《Genom》	アクリル板、アルミニウム、スチール、顔料	270×400×5.5

No.	作家／作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
14	工藤千尋 《王国の入り口 (と、出口)》	布、糸、手芸綿、紙粘土、化粧品、他	110×160×140
15	後藤拓朗 《先端絵画掲示板》	油彩・キャンバス、木材、他	400×400×400
16	Scott Allen 《spring》	レーザー、ミラー、スピーカー、各種電子回路	500×500×400
17	鈴木伸吾 《枯山水 南の島》	木、砂、紙、プラスチック、粘土、米粉	500×500×500
18	照屋美優 《Room+》	色鉛筆、インクジェット印刷、紙	500×500×500
19	毒山凡太郎 《経済産業省 第四分館》	映像、ミクストメディア	18分22秒 サイズ可変
20	富田美徳 《388 全身図Ⅱ》	木版画・和紙	156×233×3
21	ナルコ 《八方睨みのサルトル》	ミクストメディア	500×300×400
22	福嶋幸平 《生の間》	ミクストメディア	200×360×360
23	福本歩 《タオ・マーケット》	陶、木、他	300×500×150
24	MYU mikki 《deep time》	デジタルC-プリント	63×93×3
25	山田弘幸 《慾玉》	写真、オブジェ、他	500×500×10~20
26	ユアサエボシ 《GHQ PORTRAITS》	水性塗料・瓦	323×442×4.5

2. 常設展

「岡本太郎と音楽—響き・不協和音」展

会 期 2016 年 4 月 14 日(木)～2016 年 7 月 3 日(日)
 開催日数 69 日
 観 覧 料 一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円
 中学生以下無料
 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
 出品点数 約 100 点
 担 当 者 佐藤玲子



《飛ぶ眼》 1961 年



ピアノを演奏する岡本太郎

【開催趣旨】

岡本太郎にとって、画家への道は自ら望んだというよりも、母かの子の強い希望に沿った、いわば敷かれたレールでした。かの子の没後、長いパリ留学も終わりにさしかかった時期、父一平は、「君は中学生のとき画より音楽の方がずっと好きなようだった」と手紙に書き綴っています。「これからもシタゴシがやはり音楽が天成好きなら音楽をやり、楽器を執るに、もし手練れの年齢の時期が過ぎたのなら作曲に関したことでもやり、とにかく好きな道で苦楽して一生を終わらせ度い。そのため絵はよしでも仕方ない。」(『母の手紙』 婦女界社、1941 年)

もちろん音楽を本業にすることこそありませんでしたが、アトリエには与謝野晶子から贈られたピアノを置き、独学ながら制作の合間にショパンの「雨だれ」や「軍隊ポロネーズ」などを弾いて楽しみました。岡本の絵画にも、共感覚にも似た、色やかたちの響きを感じるものが数多くあります。あまり知られていない岡本太郎と音楽の関わりから、作品に親しんで頂く展示構成としました。

【関連事業】

ミュージアム・コンサート「岡本太郎とモーツァルト」

パリに留学していた若き日、岡本太郎は「真空で明るく、隅々まで残酷にすき透った」モーツァルトの音楽にひかれ、強く心を打たれました。常設展の内容にあわせ、岡本が心ひかれたモーツァルトの曲を、フルートと弦楽トリオのコンサートを行いました。

日 時 2016 年 6 月 11 日(土) 14:00～14:45
 場 所 岡本太郎美術館ギャラリー
 出 演 者 フルード 常山こずえ、ヴァイオリン 門野由奈、ピオラ 池辺真帆、チェロ 奥平華子
 料 金 無料
 参加人数 141 名
 曲 目 モーツァルト ディヴェルティメント 変ホ長調 K.563 より、第 6 楽章ほか

【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法	制作年
1	岡本太郎	呼ぶ A	FRP	1990
2	岡本太郎	呼ぶ B	FRP	1990
3	岡本太郎	赤	キャンバス、油彩	1961
4	岡本太郎	哄笑	キャンバス、油彩	1972
5	岡本太郎	二つの顔	キャンバス、油彩	1957
6	岡本太郎	赤のアイコン	キャンバス、油彩	1961
7	岡本太郎	装える戦士	キャンバス、油彩	1962
8	岡本太郎	傷ましき腕	キャンバス、油彩	1936/
9	岡本太郎	空間	キャンバス、油彩	1934/1954
10	岡本一平	無題(岡本一家)	紙本彩色	制作年不詳
11	岡本一平	浮世六態	紙本彩色	制作年不詳
12	岡本太郎著、 岡本一平装丁	母の手紙	書籍	1940

13	岡本かの子著、 岡本太郎装丁	老妓抄	書籍	1986
14	岡本かの子	起き出でて	紙本墨書	制作年不詳
15	岡本かの子著	深見草	書籍	1940
16	岡本太郎	青い顔	紙、油彩	1962
17	岡本太郎	立つ人(飛翔)	紙、油彩	1962
18	岡本太郎	ふたり (イ)	紙、油彩	1962
19	岡本太郎	女	紙、油彩	1962
20	岡本太郎	ポジション	紙、油彩	1962
21	岡本太郎	黒い生き物	紙、油彩	1961
22	岡本太郎	遊ぶ子	紙、油彩	1962
23	岡本太郎	二人	紙、油彩	1962
24	岡本太郎	斉唱	紙、油彩	1962
25	岡本太郎	ふたり (ニ)	紙、油彩	1962
26	岡本太郎	神女 (ハ)	紙、油彩	1962
27	岡本太郎	赤	紙、油彩	1962
28	岡本太郎	アドレッサン	キャンバス、油彩	1961
29	岡本太郎	失われた記憶	キャンバス、油彩	1963
30	岡本太郎	飛ぶ眼	キャンバス、油彩	1961
31	岡本太郎	休日	キャンバス、油彩	1963
32	岡本太郎	まひるの生物	キャンバス、油彩	1962
33	岡本太郎	跳ぶ	キャンバス、油彩	1963
34	岡本太郎	予感	キャンバス、油彩	1963
35	岡本太郎	想念	キャンバス、油彩	1962
36	岡本太郎	ドラマ	キャンバス、油彩	1958
37	岡本太郎	顔Ⅲ	キャンバス、油彩	1968
38	岡本太郎	秘教	紙、油彩	1962
39	岡本太郎	スツール	アルミ、布	1967
40	岡本太郎	湧き上がる	ブロンズ	1989
41	岡本太郎	歓喜	紙、木版	1962
42	岡本太郎	眼	紙、木版	1970
43	岡本太郎	めぐりあい	紙、木版	1966
44	岡本太郎	プロムナード	紙、木版	1965
45	岡本太郎	太陽の塔	FRP	1970
46	岡本太郎	悲しい動物	キャンバス、油彩	1974
47	岡本太郎	愛撫	キャンバス、油彩	1964
48	岡本太郎	流れる夢	キャンバス、油彩	1975
49	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
50	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
51	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
52	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969(原型)
53	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967(原型)
54	岡本太郎	躍進	繊維強化プラスチック	1972
55	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1974
56	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック他	1970
57	岡本太郎	花びらの椅子	繊維強化プラスチック	1970(原型)
58	岡本太郎	飛行船模型	繊維強化プラスチック	1973
59	岡本太郎	遊び	合板、金属	1967

60	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
61	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
62	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
63	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
64	岡本太郎	手の灰皿	ガラス	1979
65	岡本太郎	梵鐘・歎息	ブロンズ	1965
66	岡本太郎	エラン	FRP	1976
67	岡本太郎	ノン	FRP	1970
68	岡本太郎	女神像	FRP	1979
69	岡本太郎	こどもの樹	FRP	1985
70	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
71	岡本太郎	燃える手	蠟	1965
72	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981
73	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
74	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
75	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
76	岡本太郎	歩み	陶	1967
77	岡本太郎	噴火口	陶	1981
78	岡本太郎	むすめ	陶	1982
79	岡本太郎	うなづく	陶	1982
80	岡本太郎	踊り	陶	1982
81	岡本太郎	ひらく肖像	陶	1982
82	岡本太郎	横たわる	陶	1981
83	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
84	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
85	岡本太郎	男の子・女の子	陶	不詳
86	岡本太郎	顔	ガラス	1990
87	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
88	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
89	岡本太郎	神話	白銅	1980
90	岡本太郎	顔	バッグ	1978
91	岡本太郎	夢の鳥ティーセット	陶	1977
92	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
93	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
94	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
95	岡本太郎	顔のプレート(青)(赤)	ガラス	1976
96	岡本太郎	顔	陶器	1952
97	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
98	岡本太郎	出発 JR記念メダル	金	1987
99	岡本太郎	花ひらく(マグカップ)	陶	1977
100	岡本太郎	輝く手	銀	1986
101	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
102	岡本太郎	手の椅子(ミニチュア)	陶磁	1986
103	岡本太郎	国際眼科学会記念メダル	銅	1978
104	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
105	岡本太郎	ガラス絵	ガラス、ペンキ	1964
106	岡本太郎	サイコロ椅子	籐	1957/2011

2. 常設展

「岡本太郎—主題と文脈」展

会 期	2016 年 7 月 7 日(木)～ 10 月 10 日(日)
開催日数	80 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	約 100 点
担 当 者	佐々木秀憲



《傷ましき腕》1936 年/1949 年再制作

【開催趣旨】

岡本太郎の作品には意味があるのでしょうか、それとも無意味なのでしょうか。作品に付されたタイトルと、制作された状況、そして残された資料を交えて考え合わせると、岡本太郎の作品は、見る人に対し、その主題について、実に雄弁に語りかけてくれます。

本展では、明治・大正・昭和・平成の四つの時代を駆け抜けた前衛芸術家・岡本太郎の作品を制作された文脈と共にご紹介し、その主題について考察いたします。

【出展作品リスト】

No	作家名	作品名	材質・技法	制作年
1	岡本太郎	敗惨の歎き	水彩・紙	1925
2	岡本太郎	愛	コンクリート	1961
3	ジャン・アルプ	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1930 頃/1973
4	テオ・ファン・ドゥースブルフ	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1930 頃/1973
5	フランティシェク・クプカ	抽象	シルクスクリーン・紙	1931/1973
6	岡本太郎	空間	シルクスクリーン・紙	1933/1973
7	ピエト・モンドリアン	コンポジションD	シルクスクリーン・紙	1932/1973
8	ジョルジュ・ヴァントングルロー	$Y=-X^2+bx+c$ 赤・緑	シルクスクリーン・紙	1933/1973
9	ジャン・ゴラン	時空にわたるコンポジション No.36	シルクスクリーン・紙	1934/1973
10	フリードリヒ・フォルデンベルグ =ギルデヴァルト	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1935/1973
11	クルト・セリグマン	紋章の放浪 15 点	銅版画	1933-34
12	クルト・セリグマン	隠者 (《紋章の放浪》より)	銅版画	1933-34
13	岡本太郎	群像	鉛筆・インク・パステル・紙	1949
14	岡本太郎	傷ましき腕	油彩・キャンバス	1936-1949
15	岡本太郎	空間	油彩・キャンバス	1934-1954
16	岡本太郎	夜	油彩・キャンバス	1947
17	岡本一平	海の幸山の幸	墨、彩色・紙	制作年不詳
18	岡本一平	ある夫婦六態	墨、彩色・紙	制作年不詳
19	岡本かの子	生々流転	装幀・岡本太郎	1940
20	岡本かの子	老妓抄・川	装幀・岡本太郎 (1986)	1939
21	岡本太郎	観音像	紙本彩色	制作年不詳
22	岡本太郎	誇り	繊維強化プラスチック	1961
23	岡本太郎	縄文土器	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
24	岡本太郎	縄文土器	ゼラチン・シルバー・プリント	1956

25	岡本太郎	土偶	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
26	岡本太郎	縄文土器・紋様	ゼラチン・シルバー・プリント	1974
27	岡本太郎	縄文土器	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
28	岡本太郎	なまはげ	ゼラチン・シルバー・プリント	1957
29	岡本太郎	久高のろ	ゼラチン・シルバー・プリント	1959
30	岡本太郎	大御嶽	ゼラチン・シルバー・プリント	1959
31	岡本太郎	イザイホー	ゼラチン・シルバー・プリント	1966
32	岡本太郎	オシラサマ	ゼラチン・シルバー・プリント	1962
33	岡本太郎	重工業	油彩・キャンバス	1949
34	岡本太郎	クリマ	油彩・キャンバス	1951
35	岡本太郎	青空	油彩・キャンバス	1954
36	岡本太郎	青空（ドローイング）	鉛筆・色鉛筆・紙	1954
37	岡本太郎	青空（ドローイング）	鉛筆・色鉛筆・紙	1954
38	岡本太郎	赤のアイコン	油彩・キャンバス	1961
39	岡本太郎	装える戦士	油彩・キャンバス	1962
40	岡本太郎	風神	油彩・キャンバス	1961
41	岡本太郎	渾沌	ブロンズ	1962
42	岡本太郎	子供の時間	FRP	1975
43	岡本太郎	歩く人	油彩・キャンバス	1952
44	岡本太郎	作家	油彩・キャンバス	1948
45	岡本太郎	樹人	油彩・キャンバス	1951
46	岡本太郎	夢の鳥	油彩・キャンバス	1951
47	岡本太郎	犬の植木鉢	陶土	1955
48	岡本太郎	遭遇	油彩・キャン（生田緑地整備事務所）バス	1981
49	岡本太郎	ふたり	油彩・紙	1962
50	岡本太郎	立つ人（飛翔）	油彩・紙	1962
51	岡本太郎	ポジション	油彩・紙	1962
52	岡本太郎	ふたり	油彩・紙	1962
53	岡本太郎	斉唱	油彩・紙	1962
54	岡本太郎	太陽の塔	繊維強化プラスチック	1970
55	岡本太郎	黒い生き物	油彩・キャンバス	1961
56	岡本太郎	裂けた顔	油彩・キャンバス	1960
57	岡本太郎	天空に我あり	油彩・キャンバス	1967
58	岡本太郎	具現	油彩・キャンバス	1961
59	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
60	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
61	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
62	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969(原型)
63	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967(原型)
64	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1974
65	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック	1970
66	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・風	合板	1975
67	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・めざめ	合板	1975
68	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・太陽と月	合板・FRP	1975
69	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・いこい	合板・FRP	1975
70	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・赤	合板	1975
71	岡本太郎	動物	繊維強化プラスチック	1983

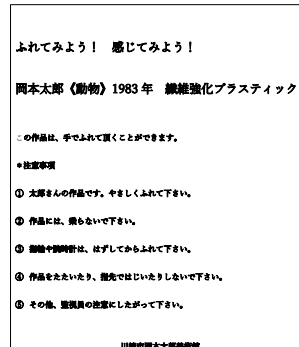
72	岡本太郎	花びらの椅子	繊維強化プラスチック	1970
73	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板、金属	1967
74	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
75	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
76	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
77	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
78	岡本太郎	手の灰皿	ガラス	1979
79	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
80	岡本太郎	サカナ	コンクリート	1960
81	岡本太郎	ノン	FRP	1970
82	岡本太郎	鳥	コンクリート	1963
83	岡本太郎	こどもの樹	FRP	1985
84	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
85	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981
86	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
87	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
88	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
89	岡本太郎	日輪	陶器	1987
90	岡本太郎	飛翔	陶器	1977
91	岡本太郎	雷神	陶器	1977
92	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
93	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
94	岡本太郎	横たわる	陶器	1981
95	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
96	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
97	岡本太郎	男の子・女の子	陶	不詳
98	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
99	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
100	岡本太郎	神話	白銅	1980
101	岡本太郎	顔	バッグ	1978
102	岡本太郎	ティーセット・夢の鳥	色絵磁器	1977
103	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
104	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
105	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
106	岡本太郎	顔のプレート(青)(赤)	ガラス	1976
107	岡本太郎	顔	陶器	1952
108	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
109	岡本太郎	出発 JR 記念メダル	金	1987
110	岡本太郎	花ひらく (マグカップ)	陶	1977
111	岡本太郎	輝く手	銀	1986
112	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
113	岡本太郎	手の椅子 (ミニチュア)	陶磁	1986
114	岡本太郎	国際眼科学会記念メダル	銅	1978
115	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
116	岡本太郎	ガラス絵・無題	ペンキ・ガラス	1964
117	岡本太郎	サイコロ椅子	籐	1957/2011

*夏期常設展では、「触常者」（国立民族学博物館・広瀬浩二郎）の観点によるユニバーサル・ミュージアムへ向けた試みとして、作品に触れるコーナーを期間限定で設け、試行した。

1. 対象作品： 《動物》1983年 FRP
2. 場 所： 常設展示室内、坐ることを拒否する椅子のコーナーの監視員そば。
3. 試行期間： 7月7日から8月31日まで
4. 対 象 者： 全来館者
5. そ の 他： 注意書きを併置した。



《動物》

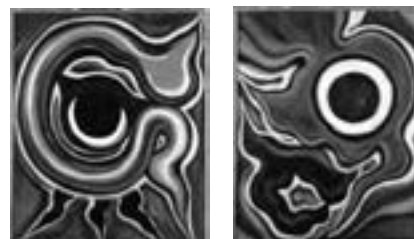


「注意書き」

2. 常設展

「太郎の眼玉ダンジョン」展

会 期	2016 年 10 月 14 日(木)～2017 年 1 月 19 日(月・祝)
開催日数	69 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大生・65 歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	約 200 点
担 当 者	木下紗耶子、飯島祥平、北川裕介



《呼ぶ》1984 年

《眼》1985 年

【開催趣旨】

常設展示室を古いお城や迷宮を意味する「ダンジョン」に見立て、岡本太郎の晩年の重要なモチーフ「眼玉」の作品を中心に展示します。名付けて「眼玉ダンジョン」です！ギロリと見開かれた「眼玉」の作品がダンジョンに住み着く化け物のように、皆さんを待ち受けています。

常設展示室の入り組んだ建築空間を生かし、作品を見ることと展示室を回遊することを同時に楽しんでもらう展示を目指しました。展示室内を巡るなかで、岡本や作品についてより深く知ることができるような工夫として、常設展示室の地図「太郎の眼玉ダンジョン地図」を配布するほか、5 枚の「太郎さんのひみつ」パネルを設置しました。

【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法等	制作年
1	岡本太郎	未来を拓く	繊維強化プラスチック	1987
2	岡本太郎	青空	油彩、キャンバス	1954
3	岡本太郎	海辺	油彩、キャンバス	1954
4	岡本太郎	エクセホモ	油彩、キャンバス	1963
5	岡本太郎	悲しい動物	油彩、キャンバス	1966
6	岡本太郎	マスク	油彩、キャンバス	1959
7	岡本太郎	赤のアイコン	油彩、キャンバス	1961
8	岡本太郎	千手	油彩、キャンバス	1965
9	岡本太郎	サカナ	コンクリート	1960
10	岡本一平	無題 (岡本一家)	紙本彩色・墨	不詳
11	岡本一平画 岡本かの子書・歌	親子目録「これがそも…」	紙本彩色	1925
12	岡本かの子	「ひととせの…」	紙本墨書	不詳
13	岡本一平	漱石八態	紙本彩色	不詳
14	岡本かの子著 岡本一平画 岡本太郎さし絵	女体開頭	書籍/中央公論社	1943
15	岡本太郎著 岡本一平序・装丁	母の手紙	書籍/婦女界社	1941
16	岡本かの子	観音経	印刷物	不詳
17	岡本太郎	誇り	繊維強化プラスチック	1962
18	岡本太郎	大阪 梅田駅付近	ゼラチン・シルバー・プリント	1957
19	岡本太郎	大阪 中之島付近	ゼラチン・シルバー・プリント	1957
20	岡本太郎	八丁堀、東京	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
21	岡本太郎	東京「銀座」の夜景	ゼラチン・シルバー・プリント	1957

22	岡本太郎	長崎 山手	ゼラチン・シルバー・プリント	1957
23	岡本太郎	西大門、硯底洞、国師堂への道	ゼラチン・シルバー・プリント	1977
24	岡本太郎	ソウル	ゼラチン・シルバー・プリント	1977
25	岡本太郎	ウシュマル	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
26	岡本太郎	ウシュマル	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
27	岡本太郎	疾走する眼	油彩、キャンバス	1992
28	岡本太郎	にらめっこ	油彩、キャンバス	1978
29	岡本太郎	マスク	油彩、キャンバス	1985
30	岡本太郎	眼の樹	油彩、キャンバス	1978
31	岡本太郎	眼の立像	油彩、キャンバス	1981
32	岡本太郎	双子座	油彩、キャンバス	1974
33	岡本太郎	散歩	油彩、キャンバス	1980
34	岡本太郎	呼ぶ	油彩、キャンバス	1984
35	岡本太郎	眼	油彩、キャンバス	1985
36	岡本太郎	眼と眼	油彩、キャンバス	1992
37	岡本太郎	ひそやかな跳躍	油彩、キャンバス	1963
38	岡本太郎	遭遇	油彩、キャンバス	1981
39	岡本太郎	挑み	油彩、キャンバス	1980
40	岡本太郎	訣別	油彩、キャンバス	1973
41	岡本太郎	森の家族	油彩、キャンバス	1983
42	岡本太郎	子供の時間	繊維強化プラスチック	1975
43	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
44	岡本太郎	めざめ	繊維強化プラスチック	1980
45	参考資料	生命の樹・生物スケッチ	鉛筆、インク	1970 頃
46	岡本太郎	太陽の塔	繊維強化プラスチック	1970
47	岡本太郎	回帰	油彩、キャンバス	1961
48	岡本太郎	黒い情熱	油彩、キャンバス	1983
49	岡本太郎	黒い手	油彩、キャンバス	1983
50	岡本太郎	踊る人	油彩、キャンバス	1984
51	岡本太郎	赤い顔	油彩、キャンバス	1979
52	岡本太郎	霊視	油彩、キャンバス	1992
53	岡本太郎	散歩 ドローイング	鉛筆	1971
54	岡本太郎	顔 ドローイング	鉛筆	1976
55	岡本太郎	猫と人 ドローイング	鉛筆	1959
56	岡本太郎	黒のシルエット ドローイング	鉛筆	1960
57	岡本太郎	空間 ドローイング	鉛筆	1960
58	岡本太郎	反世界 ドローイング	墨	1963
59	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
60	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969(原型)
61	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967(原型)
62	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
63	岡本太郎	サイコロ椅子(渦巻き模様)	籐	1957/2011
64	岡本太郎	眼と眼コミュニケーション原型	繊維強化プラスチック	1980
65	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1974
66	岡本太郎	躍進	繊維強化プラスチック	1972
67	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック	1970
68	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
69	岡本太郎	花びらの椅子	繊維強化プラスチック	1970(原型)

70	岡本太郎	飛行船模型	繊維強化プラスチック	1973
71	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
72	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板、金属	1967
73	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
74	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
75	岡本太郎	樹下嬉遊図	陶	1950
76	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
77	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
78	岡本太郎	手の灰皿	ガラス	1979
79	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
80	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
81	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
82	岡本太郎	呼ぶA	繊維強化プラスチック	1990
83	岡本太郎	呼ぶB	繊維強化プラスチック	1990
84	岡本太郎	リョウラン	繊維強化プラスチック	1989
85	岡本太郎	月の顔	繊維強化プラスチック	1981
86	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981
87	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
88	岡本太郎	花器無口	陶器	1967
89	岡本太郎	飛翔	陶器	1977
90	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
91	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
92	岡本太郎	日輪	陶器	1987
93	岡本太郎	雷神	陶器	1978
94	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
95	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
96	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960年代
97	岡本太郎	男の子・女の子	陶	不詳
98	岡本太郎	神話	白銅	1980
99	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
100	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
101	岡本太郎	顔	バッグ	1978
102	岡本太郎	ティーセット夢の鳥	陶磁	1977
103	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
104	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
105	岡本太郎	顔のプレート(青)	ガラス	1976
106	岡本太郎	顔のプレート(赤)	ガラス	1976
107	岡本太郎	顔	陶磁	1952
108	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
109	岡本太郎	手の椅子(ミニチュア)	陶	1986
110	岡本太郎	出発、JR 記念	金	1987
111	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック記念メダル	銀	1972
112	岡本太郎	輝く手	白銅、銀鍍金	1986
113	岡本太郎	札幌オリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
114	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
115	岡本太郎	東京オリンピック参加記念メダル	ブロンズ	1964
116	岡本太郎	爆発 (マグカップ)	陶	1981
117	岡本太郎	トランプ	紙	1978
118	岡本太郎	近鉄バッファローズキャップ	布	不詳

2. 常設展

「みんなが見たい！太郎セレクション 2017」展

会 期	2017 年 1 月 13 日(金)～4 月 9 日(日)
開催日数	87 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	102 点
担 当 者	飯島祥平 木下紗耶子



《森の掟》1950 年

【開催趣旨】

常設展示室では、年間 4 回展示替えを行い、岡本太郎について様々なテーマを設け作品を紹介していますが、代表的作品や人気作品を一堂に展示する機会はこれまであまりありませんでした。

そこで今回の展示では来館者のみなさんの声を反映した展示にするため、2016 年 7-9 月にアンケートを実施し、絵画作品と彫刻・陶器作品について「好きな作品」・「見たい作品」を答えていただきました。

合計 508 件の回答をもとに「太郎セレクション 2017」を選出し、アンケートに書いていただいたコメントと共に岡本太郎の人気作品・代表的作品を一挙にご紹介しました。

【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法	制作年
1	岡本太郎	手一赤	繊維強化プラスチック	1981
2	岡本太郎	手一青	繊維強化プラスチック	1981
3	岡本太郎	重工業	油彩、キャンバス	1949
4	岡本太郎	風神	油彩、キャンバス	1961
5	岡本太郎	若い太陽の塔	繊維強化プラスチック	1969
6	岡本太郎	記念撮影	油彩、キャンバス	1975
7	岡本太郎	森の掟	油彩、キャンバス	1950
8	岡本太郎	傷ましき腕	油彩、キャンバス	1949
9	岡本太郎	空間	油彩、キャンバス	1954
10	岡本一平	チャップリンせんべい包装紙原画	水彩・紙	制作年不詳
11	岡本一平 岡本かの子書・歌	チャップリンせんべい原稿	紙、鉛筆	制作年不詳
12	岡本一平他	東海道五十三次漫画絵巻	紙本彩色	1921
13	岡本かの子著 岡本太郎装幀	生々流転	書籍	1940
14	岡本一平画 島崎藤村作	藤村いろは歌留多(復刻版)	印刷物	制作年不詳
15	岡本かの子	新津光宛葉書	紙	制作年不詳
16	岡本かの子	白梅	紙本墨彩	制作年不詳
17	岡本太郎	誇り	繊維強化プラスチック	1962
18	岡本太郎	縄文土器 模様(井戸尻考古館/長野県出土)	ゼラチン・シルバー・プリント	1974
19	岡本太郎	縄文土器(東大人類学教室/富山県出土)	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
20	岡本太郎	縄文土器(井戸尻考古館/長野県出土)	ゼラチン・シルバー・プリント	1974
21	岡本太郎	土面(東大人類学教室/青森県出土)	ゼラチン・シルバー・プリント	1956

22	岡本太郎	土偶（群馬県出土）	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
23	岡本太郎	縄文土器（東京国立博物館）	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
24	岡本太郎	縄文土器（明大考古学陳列館／千葉県出土）	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
25	岡本太郎	土面（東大人類学教室／秋田県出土）	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
26	岡本太郎	縄文土器・模様（国分寺町文化財保存館／北多摩出土）	ゼラチン・シルバー・プリント	1956
27	岡本太郎	夜	油彩、キャンバス	1947
28	岡本太郎	犬の植木鉢	陶	1954
29	岡本太郎	遭遇	油彩、キャンバス	1981
30	岡本太郎	花器 歩み	陶	1967
31	岡本太郎	踊り	陶	1982
32	岡本太郎	明日の神話	油彩、キャンバス	1968
33	岡本太郎	駄々っ子（油彩）	油彩、キャンバス	1951
34	岡本太郎	犬	油彩、キャンバス	1954
35	岡本太郎	装える戦士	油彩、キャンバス	1962
36	岡本太郎	子供の時間	繊維強化プラスチック	1975
37	岡本太郎	万博オープニングの鍵	繊維強化プラスチック	1970
38	岡本太郎	足場	水彩、紙	1952
39	参考資料	生命の樹・生物スケッチ	鉛筆、インク	1970頃
40	岡本太郎	太陽の塔	繊維強化プラスチック	1970
41	岡本太郎	マラソン	油彩、キャンバス	1964
42	岡本太郎	午後の日	陶	1967
43	岡本太郎	予感	油彩、キャンバス	1963
44	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
45	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969(原型)
46	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967(原型)
47	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
48	岡本太郎	サイコロ椅子(渦巻き模様)	籐	1957/2011
49	岡本太郎	眼と眼コミュニケーション原型	繊維強化プラスチック	1980
50	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1974
51	岡本太郎	躍進	繊維強化プラスチック	1972
52	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック	1970
53	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
54	岡本太郎	花びらの椅子	繊維強化プラスチック	1970(原型)
55	岡本太郎	飛行船模型	繊維強化プラスチック	1973
56	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
57	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板、金属	1967
58	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
59	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
60	岡本太郎	樹下嬉遊図	陶	1950
61	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
62	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
63	岡本太郎	手の灰皿	ガラス	1979
64	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
65	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
66	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
67	岡本太郎	こどもの樹	繊維強化プラスチック	1985
68	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981

69	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
70	岡本太郎	縄文人	繊維強化プラスチック	1982
71	岡本太郎	ノン	繊維強化プラスチック	1970
72	岡本太郎	河童像	繊維強化プラスチック	1981
73	岡本太郎	スモッキングセット	陶器	1952
74	岡本太郎	飛翔	陶器	1977
75	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
76	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
77	岡本太郎	むすめ	陶	1982
78	岡本太郎	つどい	陶器	1988
79	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
80	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
81	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960年代
82	岡本太郎	男の子・女の子	陶	制作年不詳
83	岡本太郎	神話	白銅	1980
84	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
85	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
86	岡本太郎	顔	バッグ	1978
87	岡本太郎	ティーセット夢の鳥	陶磁	1977
88	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
89	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
90	岡本太郎	顔のプレート(青)	ガラス	1976
91	岡本太郎	顔のプレート(赤)	ガラス	1976
92	岡本太郎	笑い	陶	1952
93	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
94	岡本太郎	手の椅子(ミニチュア)	陶	1986
95	岡本太郎	出発、JR 記念	金	1987
96	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック記念メダル	銀	1972
97	岡本太郎	札幌オリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
98	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
99	岡本太郎	東京オリンピック参加記念メダル	ブロンズ	1964
100	岡本太郎	爆発 (マグカップ)	陶	1981
101	岡本太郎	トランプ	紙	1978
102	岡本太郎	近鉄バッファローズキャップ	布	制作年不詳

3. 記念講演会

■ダリオ・ガンボーニ教授 来日記念講演会■

日 時 2016 年 7 月 23 日 (土) 14 :00~16 :30

内 容 2014 年春期、岡本太郎美術館は企画展「岡本太郎と潜在的イメージ」を開催した。同展覧会は、西洋近現代美術史家として世界的に著名なスイス・ジュネーヴ大学教授ダリオ・ガンボーニ博士の著書『潜在的イメージ』(三元社)に依拠して構成された内容であった。同企画展をきっかけに、ガンボーニ博士は岡本太郎に関心を深くし、研究を開始している。本年 7 月のガンボーニ博士の来日に際し、当館における記念講演会を熱望していることが、同博士の日本における協力者である茨城大学の藤原貞朗教授より連絡があった。これは、西洋美術に関する世界的な第一線の研究者が、岡本太郎について言及する、初の機会であり、当館活動の海外発信にとって、重要な機会となった。

講 師 スイス・ジュネーヴ大学文学部美術史学教授
ダリオ・ガンボーニ博士

演 題 「岡本太郎とイサム・ノグチ」(逐次通訳付)

日 時 2016 年 7 月 23 日(土) 14 : 00~

会 場 岡本太郎美術館 ガイダンス・ホール

主 催 川崎市岡本太郎美術館、茨城大学

参加者数 約 50 名



4. 共催・協力企画展

「岡本太郎の版画展」

会 場	須坂版画美術館
会 期	前期：2016 年 8 月 4 日（木）～8 月 28 日（日） 後期：2016 年 9 月 1 日（木）～9 月 27 日（火）
主 催	一般財団法人須坂市文化振興事業団、須坂版画美術館
協 力	川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館
後 援	須坂市、須坂市教育委員会、須坂新聞社、須高ケーブルテレビ株式会社
貸出点数	43 点



5. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
下郷 羊雄	《失題》	名古屋画廊	油彩 キャンバス

寄贈作品・資料

作者名	作品名	寄贈元	摘要
岡本 太郎	《花ひらく》	藤岡 恵氏	染織工芸 (スカーフ)
岡本 一平	中野美知麿像》	中野 道夫氏	墨・色紙
下郷 羊雄	《偶成》	名古屋画廊	油彩 キャンバス
岡本 太郎	第 23 回国際眼科学会記念切手 1 シート (20 枚)	阿部 光子氏	1 シート (20 枚)
東京都	『TOKYO PARIS 都市問題シンポジウム パンフレット』	阿部 光子氏	各パネラーの 直筆署名付

作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
行く人	岡本太郎	1962	油彩	10-00042	黴孢子除去、亀裂部接着、画面洗淨、手垢除去、絵具剥落部充填、同充填部補彩、擦傷部修復、保護膜塗布、皺修復	有限会社吉村美術研究所
挑み		1980		10-00101		
裂けた顔		1980		10-00095		
樹霊 I	岡本太郎	1970	彫刻	2S-00033	清掃、表面研磨・エージング、角部分塗装、部分補修、トップコート、台座作成	日本美術工芸株式会社
女		1976		2S-00045		

貸出作品及び資料

本年度貸出作品：6 件 107 点

貸出先	パソ・インペリアル美術館				合計：1 点
北代省三	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
シーラカンス	彫刻	1953/1990	「コンテンポラリーの出現：日本の美術 1955-1975」展 2016. 7. 14-8. 28 パソ・インペリアル美術館		2016. 6. 8- 9. 16

貸出先	須坂版画美術館				合計：43 点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
貝現	版画	1974	「岡本太郎の版画」展 前期：2016. 8. 4-8. 28 後期：2016. 9. 1-9. 27 須坂版画美術館		2016. 7. 21- 10. 4
呼ぶ	版画	1974			
エクセホモ	版画	1974			
子供の時間	版画	1974			
夜の会合	版画	1974			
生成	版画	1974			
記念撮影	版画	1975			
挑み	版画	1975			
ドラマ	版画	1975			
流れる夢	版画	1975			
黒い顔	版画	1975			
未来を見た	版画	1975			
虫と子供	版画	1975			
犬	版画	1975			
海辺	版画	1975			
クリマ	版画	1975			

石と樹	版画	1977	
眼と眼	版画	1977	
黒い太陽	版画	1980	
風	版画	1980	
跳ぶ	版画	1980	
黒い生き物	版画	1962	
太陽	版画	1981	
ヒロシマ	版画	1985	
双子座	版画	1973	
眼と眼	版画	1983	
装える戦士	版画	1988	
まひる	版画	1988	
挑み	版画	1988	
呼ぶ	版画	1988	
夢	版画	1988	
歓喜	版画	1962	
プロムナード	版画	1965	
めぐりあい	版画	1966	
太陽	版画	1970	
風	版画	1970	
花ひらく	版画	1958	
メタモルフォーズ	版画	1960	
コンポジション	版画	1958	
風神	版画	1979	
坐ることを拒否する椅子	インダストリアル デザイン	1963 (原型)	
坐ることを拒否する椅子	インダストリアル デザイン	1963 (原型)	
坐ることを拒否する椅子	インダストリアル デザイン	1963 (原型)	

貸出先	釜山市立美術館			合計：1点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名/会期・会場	貸出期間
森の掟	油彩	1950	「2016 釜山ビエンナーレ Project 1 “An / Other Avant-garde China-Japan-Korea”」展 2016. 9. 3-11. 30 釜山市立美術館	2016. 8. 2- 12. 9

貸出先	愛知県陶磁美術館				合計：60点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
岡本太郎撮影写真 60点	写真		特別企画展 「人が大地と出会うとき」展 2016. 9. 10-10. 23 愛知県陶磁美術館		2016. 8. 25- 11. 2

貸出先	鳥取県立博物館、埼玉県立近代美術館、高知県立美術館				合計：1点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
まひるの顔	油彩	1948	「日本におけるキュビズム ーピカソ・インパクト」展 2016. 10. 1-11. 13 鳥取県立博物館 2016. 11. 23-2017. 1. 29 埼玉県立近代美術館 2017. 2. 12-3. 26 高知県立美術館		2016. 9. 13- 2017. 4. 4

貸出先	東京ステーションギャラリー				合計：1点
横尾忠則	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
岡本桃太郎	バブルジェット プリント	1966/2000	「パロディ、二重の声 日本の一九七〇前後左右」展 2017. 2. 18-4. 16 東京ステーションギャラリー		2017. 1. 19- 5. 10

6. 情報・刊行物

刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 54～57	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展案内 ・常設展案内 ・イベント報告 ・美術館カレンダー ・美術館利用案内 	20,000 部 (各 5,000 部発行)
平成 28 年度 川崎市岡本太郎美術館 教育普及 記録集	A5 版	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及事業の記録 	300 部
平成 27 年度 川崎市岡本太郎美術館年報 当館ホームページにて、PDF 版の閲覧が可能 http://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html	A4 版	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告（企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会） ・資料（入館者数統計、美術館事業予算・決算概要） ・組織名簿 ・美術館概要 ・美術館条例・規則 	300 部



美術館ニュース「TARO」 Vol. 54～57



平成 27 年度
美術館年報



平成 28 年度
教育普及事業
記録集

7. 教育・普及事業

■ イベント・ワークショップ ■

<TARO 鯉にいどむ！ 2016>

ワークショップ日程 2016年①4月23日(土)、②24日(日)、③29日(金祝) 13:00~16:00

作品展示日程 2016年4月29日(金祝)~5月5日(木)

内 容 常設展示室の鑑賞、制作、仕上がった後母の塔前広場に展示、記念撮影、という流れで行いました。岡本太郎の言葉通り、「大人も、年寄りも、みんな自分自身が空中に飛翔しているような思いで」「自分勝手に」つくってました。展示するための作業以外は出来るだけ自由に自分のおもいそのままにつくってほしいという意図があり、それがよかったというアンケートの感想もありました。今年度は第19回 TARO 賞作家にもご協力をいただき6名の作家の鯉のぼりを一緒に展示しました。母の塔前広場にロープを4本つなぎ、計83匹の鯉のぼりが泳ぎました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室、母の塔前広場

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 ①34名 ②26名 ③37名

協力作家 楳の会 林楳人、関川耕嗣、坪井康宏、三宅感、森本孝、六無(名前順)

<琉球舞踊—古典と雑踊り>

日 程 2016年5月4日(水祝) 14:00~15:00

内 容 企画展「岡本太郎の愛した沖縄」に合わせて、琉球舞踊のイベントを行いました。川崎市と神奈川県が無形民俗芸能文化財にも指定されている川崎沖縄芸能研究会の皆さんを講師として招き、主要な古典踊りや雑踊りを披露していただきました。イベント後半部では、簡単なレクチャーのもと、カチャーシーと安里屋ユンタを会場のみんなで踊りました。ゴールデンウイーク中日ということもあり、多くの方にご参加いただき、館を賑やかすイベントとなりました。



講 師 川崎沖縄芸能研究会

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加人数 256名

<みんなの読書会×川崎市岡本太郎美術館 「読書会、はじめての岡本太郎」>

日 時 2016年5月29日(日) 13:00~15:15

内 容 これまで多くの読書会を企画してきた「みんなの読書会」と共催で、岡本太郎の著作「青春ピカソ」を課題本とした「読書会、はじめての岡本太郎」を開催しました。5人ずつの3グループに分かれて実施され、各グループにみんなの読書会からファシリテーターが1人ずつ参加しました。10代~50代まで幅広い年齢層の方にご参加いただき、本の内容から太郎の芸術観を考えたり、「作品を鑑賞するとはどういうことなのか」などといった哲学的な議論をしたり、深い意見交換がなされていました。意見交換のあとは、簡単なワークショップも行いました。クレヨンや色鉛筆を使用し、岡本太郎のイメージや青春ピカソの感想を一文字で表しました。書く文字も描き方も多様で、参加者も楽しんでいるようでした。



場 所 創作アトリエ

対 象 高校生以上

講 師 みんなの読書会

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 15人

<「明日の神話」モザイク画展示>

日 程 2016年6月4日(土)~6月26日(日)

内 容 日の出舎の皆さんが木工チップを使って、岡本太郎の「明日の神話」のモザイク画を制作。9mにもわたる大作を美術館へ運び、ギャラリースペースに展示しました。

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

制 作 社会福祉法人「泉会」日の出舎の皆さん



専修大学×川崎市岡本太郎美術館 <わたしの塔 ねんどでつくっ TARO>

日 程 2016年①6月25日(土)、②26日(日) 13:00~16:00

内 容 あまり美術館を訪れたことがないであろう幼稚園生・小学生をターゲットに岡本太郎の作品に関心を持ってもらうことを目的に、専修大学の学生が企画し運営したワークショップ。紙粘土で塔を作り、色付けをし、オリジナルの塔を作り上げることで、作品作りの楽しさを味わってもらいました。つくった作品は、常設展示室内に展示しました。

場 所 創作アトリエ、常設展示室

主 催 専修大学小林プロジェクト

料 金 200円

参加人数 ①60名 ②62名



<ナイトミュージアム>

日 時 2016 年①8 月 27 日(土)、②9 月 10 日(土) 17:30~20:00

③2 月 18 日(土)、④3 月 11 日(土) 17:15~20:00

内 容 学芸員のギャラリートツアーと普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する大人限定のイベント。常設展をガイドツアー形式で観覧後、バックヤードを見学しました。その後、各々で展覧会をご覧いただき、カフェやショップでも自由にゆっくりとした時間を過ごしていただきました。

場 所 常設展示室、企画展示室、バックヤード、TARO カフェ

料 金 1500 円(入館料、ワンドリンク付き)

参加人数 ①22 名 ②26 名 ③21 名 ④20 名



専修大学インターンシップ生企画

<センディと美術館たんさくツアー>

日 時 2016 年 9 月 4 日(日) 9:30~17:00

内 容 しおりに書いてある専修大学マスコットキャラクターのセンディのヒントをもとに、展覧会に関するクイズを解いていくイベント。全問正解の方には、お菓子や大学生オリジナルのグッズをプレゼントしました。

場 所 企画展示室

料 金 無料

参加人数 203 名



<光る TARO をつくろう>

内 容 昨年も好評をいただいたワークショップを今年も開催しました。風船やプラスチック板の土台に岡本太郎作品をイメージした形に色紙を切りぬいて貼っていきます。その上に和紙を貼って光を当てると模様が浮かび上がってくる光のオブジェをつくりました。作ったオブジェは美術館の母の塔前広場などで展示をしました。

講 師 森脇裕之(多摩美術大学 情報デザイン学部 准教授・ライトアーティスト)

協 力 専修大学ネットワーク情報学部 上平崇仁研究室

展示期間 2016 年 12 月 10 日(土)~2017 年 1 月 9 日(月・祝) 16:00~19:00

①

内 容 生田緑地内の外灯にかぶせる円柱形のオブジェを制作しました。光る TARO を生かした、美術館と地域の連携について考えるきっかけとしてもりました。

日 時 2016 年 10 月 26 日(水) a 13:00~15:00、b 18:00~20:00

場 所 専大サテライトキャンパス

川崎市多摩区登戸 2130-2 アトラスタワー向ヶ丘遊園 2 階 24 号室

料 金 無料

参加人数 a 4 名 b 10 名



②

内 容 出張ワークショップとして、ゆうゆう広場たかつに向き、円柱型のオブジェをつくりました。

日 時 11 月 9 日(水)10:30~12:00

場 所 ゆうゆう広場たかつ

参加人数 6 名

③

内 容 風船型のオブジェを作りました。展示終了後、作品の返却を行い、持ち帰って楽しんでいただきました。

日 時 2016 年 a 11 月 12 日(土)、b 13 日(日) 13:00~16:00

場 所 美術館創作アトリエ

料 金 1 作品につき 300 円

参加人数 a 18 名 b 23 名



④

内 容 円柱型・円錐型のオブジェを制作しました。

日 時 2016 年 11 月 20 日(日) 13:00~16:00

場 所 美術館創作アトリエ

料 金 無料

参加人数 77 名

⑤

内 容 直径 2m の大きな球のオブジェをみんなでつくりました。大きなボールを土台に、色紙で岡本太郎をイメージした形を切って貼ってもらいました。

日 時 2016 年 11 月 23 日(水祝) 10:00~16:00

場 所 美術館ギャラリースペース

料 金 無料 当日自由参加

参加人数 145 名



<茶会—遊喜庵>

日 程 2016 年 11 月 3 日(木祝) 13:00~16:00

内 容 文化の日である 11 月 3 日、昨年もご好評いただいた「茶会—遊喜庵」を開催しました。茶道裏千家流正教授の岩沢宗知氏を講師に、お抹茶とお菓子を楽しむイベントです。

場 所 ガイダンスホール

講 師 岩沢宗知(茶道裏千家流 正教授)

料 金 300 円

参加人数 124 名



<ペアでたのしむ TARO セレクション>

内 容 展示をペアで楽しむギャラリーツアーを開催しました。子どもから大人まで様々な年齢の方々にご参加いただき、二人ならではの見方で岡本太郎の作品を楽しみました。作品を見た後は、お互いに送りたい作品を選び、手紙を渡しあいました。

日 時 2017 年 1 月 29 日(日) 13:30~15:00

場 所 常設展示室

対 象 どなたでも 2 人組 先着 10 組

料 金 無料(観覧料のみ)

参加人数 18 名



<大人のための TARO 塗り絵>

内 容 岡本太郎の展示作品や第 20 回 TARO 賞の作品を見た後、岡本太郎作品の塗り絵を、色々な画材、技法を学びながら体験していただきました。

日 時 2017 年 2 月 11 日 (土) 10:00~12:30

場 所 美術館創作アトリエ ほか

料 金 1200 円(観覧料含む)

対 象 20 歳以上 先着 20 名

参加人数 12 名



Taro バースデーコンサート

<弦楽四重奏「カルテット・シスレー」演奏会>

内 容 岡本太郎の誕生日を祝って、弦楽四重奏「カルテット・シスレー」によるコンサートを行いました。クラシックの名曲の他、オリジナルのオマージュ曲「TARO SISLEY ～踊り 祈れ そして爆発 for string quartet～」も再演。太郎の愛したシャンソンも交えた多彩なプログラムをお楽しみいただきました。

日 時 2017 年 2 月 26 日 (日) 14:00~

場 所 美術館ギャラリースペース

出 演 カルテット・シスレー(門野由奈、桂川千秋、池辺真帆、加藤泰徳)

対 象 どなたでも(当日先着順)

料 金 無料(椅子席 80 席のみ要観覧券)

参加人数 70 名



■団体利用実績■

学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

平成 28 年度 教育団体利用数

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	103	0	0	0	0	0	0	0	0	1	103
5	1	124	4	443	5	137	1	9	0	0	11	713
6	7	778	0	0	4	63	7	213	1	25	19	1079
7	0	0	1	28	0	0	2	41	0	0	3	69
8	3	181	3	80	0	0	2	33	0	0	8	294
9	10	1102	1	5	1	28	0	0	0	0	12	1135
10	11	1182	2	242	3	46	0	0	1	40	17	1510
11	9	976	0	0	2	33	1	21	1	30	13	1060
12	14	1536	2	167	1	167	0	0	0	0	17	1870
1	6	721	8	48	2	50	0	0	0	0	16	819
2	7	562	5	25	0	0	0	0	0	0	12	587
3	2	198	1	9	0	0	0	0	1	35	4	242
計	71	7463	27	1047	18	524	13	317	4	130	133	9481

■学校プログラム■

<職業体験プログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各 1 時間程度体験します。



今年度受入校数 16 校

<出張授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。



今年度受入校数 9 校

■教材開発と利用■

<映像資料>

「岡本太郎の芸術」

時間：20 分

内容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説
*デロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



「マナーDVD」

内容：小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたもの。



<作品プリント>

「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

*個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

<大型作品プリント>



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品

<作品カード (アートカード) >

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 7 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 10 作品

版 画：《眼》《夢》全 2 作品レリーフ：《マスク》全 1 作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全 3 作品



【バウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

<子ども向けパンフレット>

岡本太郎の作品を年代順に紹介し、両親である岡本一平・かの子について、川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載した小・中学生向けのパンフレット。裏面は切り取って使用できるはがきになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることが出来ます。(届いたはがきは、館内のギャラリースペースで閲覧可能)



■美術館教育研究会■

日 時 2017 年 2 月 17 日 (金) 15:00~16:30

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 (1) 28 年度の普及事業報告

- 学校対応事業
- 学校・地域連携事業
- イベント・ワークショップ事業

(2) 29 年度の教育普及事業予定

- 学校団体利用について
 - ・学校団体鑑賞プログラムについて
 - ・子ども用パンフレットの活用、鑑賞シート作成

○展覧会、イベント予定

- ・展示室工事に伴う学校団体受け入れについて

(3) その他

出席者 小・中学校：岩崎知美 (総合教育センター指導主事)、宮川友二郎 (小田小学校校長)、加藤順也 (東小田小学校校長)、小林隆 (専修大学ネットワーク情報学部教授)、北潟美波 (升形中学校教諭)、太田景子 (菅中学校教諭)、前田茉莉江 (稲田中学校教諭)、本田真一 (百合丘小学校教諭)

美術館：荻原圭一 (副館長)、佐藤玲子 (普及企画担当係長)、山崎千加子 (普及企画係主任)、橋本文恵、高野英江、北川裕介 (普及企画係非常勤職員)

8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

川崎市文化芸術振興会議施設部会

第 1 回

日 時：2016 年 7 月 26 日（火）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原 純（美術評論家）

委員 藤 嶋 俊 會（美術評論家）、光 田 由 里（DIC 川村記念美術館学芸課長）

室 井 絵 里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1) 平成 27 年度事業について

ア 展覧会事業

・企画展

「竹田鎮三郎 メキシコに架けたアートの橋」展

「遊び ひらく 岡本太郎」展

「岡本太郎と中村正義・東京展」

「第 19 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」

・常設展

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

(2) 平成 28 年度事業経過及び予定について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎が愛した沖縄」展

「鉄道美術館 The Railway Art Museum」展

「つくることは生きること 震災<<明日の神話>>」展

「第 20 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

・常設展

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

第 2 回

日 時：2017 年 3 月 7 日（火）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原 純（美術評論家）

委員 杉浦 幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）、藤嶋 俊 會（美術評論家）、
室井 絵 里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1) 平成 28 年度事業報告について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎が愛した沖縄」展

「鉄道美術館 The Railway Art Museum」展

「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展

「第 20 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

・常設展

・記念講演会

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

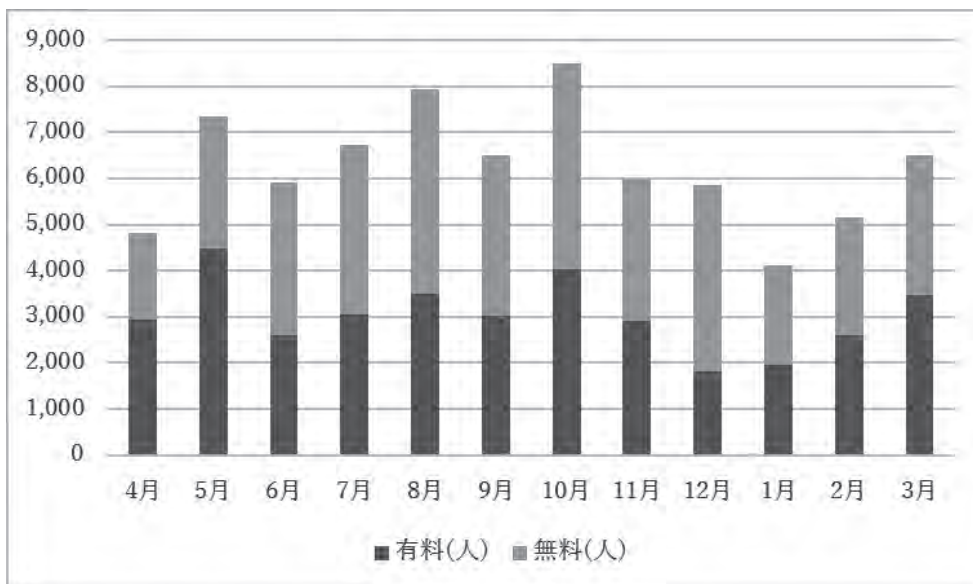
(2) 平成 29 年度事業予定について

II. 資料

1. 入館者数統計

【平成 28 年度 月別入館者数】

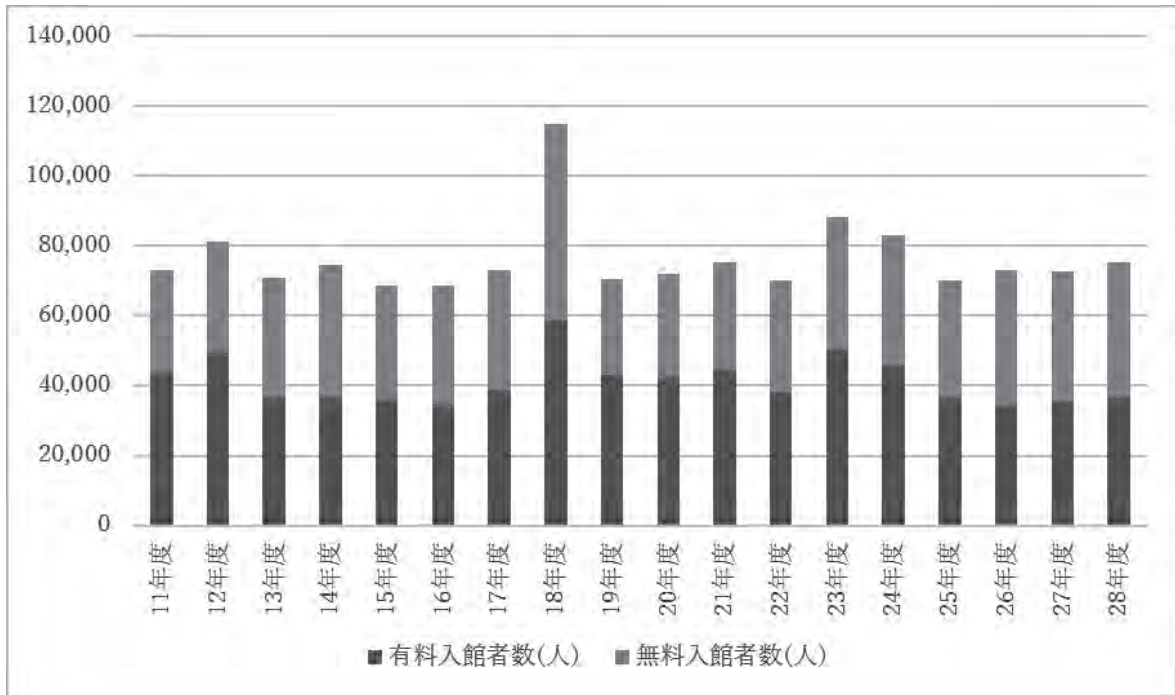
月	開館日数 (日)	一日平均 (人)	有料(人)	無料(人)	合計(人)
4	24	200	2,936	1,874	4,810
5	25	294	4,490	2,864	7,354
6	26	227	2,594	3,317	5,911
7	25	269	3,062	3,669	6,731
8	25	318	3,504	4,434	7,938
9	25	260	3,018	3,480	6,498
10	24	354	4,040	4,458	8,498
11	24	250	2,908	3,096	6,004
12	24	244	1,820	4,027	5,847
1	22	187	1,964	2,142	4,106
2	24	215	2,603	2,550	5,153
3	26	250	3,478	3,011	6,489
合計	294	256	36,417	38,922	75,339



【年度別入館者数】

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
11 年度	124	43,420	29,593	73,013	586
12 年度	292	49,532	31,837	81,369	279
13 年度	298	36,363	34,613	70,976	238
14 年度	298	36,466	38,259	74,725	247
15 年度	293	36,199	32,296	68,495	234
16 年度	287	34,607	34,183	68,790	240
17 年度	293	38,682	34,382	73,064	249
18 年度	296	58,619	56,197	114,816	388
19 年度	296	43,061	27,360	70,421	237
20 年度	294	42,545	29,443	71,988	245
21 年度	293	44,541	30,906	75,447	257
22 年度	284	38,422	31,611	70,033	247
23 年度	287	50,053	37,989	88,042	307
24 年度	284	45,777	37,260	83,037	292
25 年度	298	36,322	33,862	70,184	236
26 年度	296	34,370	38,800	73,170	247
27 年度	296	35,253	37,330	72,583	245
28 年度	294	36,417	38,922	75,339	256
合 計	5,103	740,649	634,843	1,375,492	269

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成 11）年 10 月 30 日



2. 美術館事業 予算・決算概要

予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	12,198	
	報酬	9,545	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,653	非常勤職員分
	学芸業務事業費	50,008	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	3,030	臨時職員賃金
	報償費	1,164	企画展協力謝礼 資料収集・評価委員会謝礼等
	旅費	845	企画展等調査旅費
	需用費	1,137	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	1	公園施設設置許可手数料
	委託料	25,922	展示上映事業（企画展 4 本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	10,462	OA機器賃借料 展示上映使用料賃借料
	備品購入費	1,465	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	5,972	平成 28 年度川崎市地域博物館等連絡会 平成 28 年度全国美術館会議 平成 28 年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	106,760	
	管理運営委託料	106,760	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,422	
	共済費	5	臨時職員分
	賃金	1,485	臨時職員賃金
	需要費	931	消耗品
	委託料	3,001	映像デジタル化・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	15,200	
	委託料	1	空調設備補修
	工事請負費	15,199	空調設備補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,463	
	委託料	5,463	「樹霊」補修・台座製作
	美術館施設整備事業費	30,229	
	委託料	2,748	中央監視装置更新
	工事請負費	27,481	中央監視装置更新
計		225,280	
歳 入	使用料	39,158	観覧料
	その他使用料	1,373	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,286	非常勤職員分
	雑入	8,557	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
計		50,374	

決算概要

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	12,212	
	報酬	9,545	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,667	非常勤職員分
	学芸業務事業費	45,119	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	2,692	臨時職員賃金
	報償費	1,054	企画展協力謝礼 資料収集・評価委員会謝礼等
	旅費	599	企画展等調査旅費
	需用費	1,015	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	90	図書館レシート広告
	委託料	25,417	展示上映事業（企画展4本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,022	OA機器賃借料 展示上映使用料賃借料
	備品購入費	1,255	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	5,965	平成28年度川崎市地域博物館等連絡会 平成28年度全国美術館会議 平成28年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	106,760	
	管理運営委託料	106,760	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,031	
	共済費	5	臨時職員分
	賃金	1,192	臨時職員賃金
	需要費	833	消耗品
	委託料	3,001	映像デジタル化・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	14,271	
	委託料	0	
	工事請負費	14,271	空調設備補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,375	
	委託料	5,375	
	美術館施設整備事業費	12,506	
	委託料	0	中央監視装置更新
	工事請負費	12,506	中央監視装置更新
計		201,274	
歳 入	使用料	25,673	観覧料
	その他使用料	1,265	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,294	非常勤職員分
	雑入	3,110	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・ イベント収入
計		31,342	

III. 組織名簿 (28 年度)

1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿 (任期 28 年 10 月 1 日～28 年 9 月 30 日)

部会長	勅使河原 純 (美術評論家)
委員	杉 浦 幸 子 (武蔵野美術大学芸術文化学科教授)
委員	藤 嶋 俊 會 (美術評論家 (文化芸術振興会議委員))
委員	光 田 由 里 (D I C 川村記念美術館学芸課長)
委員	室 井 絵 里 (インディペンデントキュレーター)

2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	北 條 秀 衛	主任 (普及企画)	山 崎 千 加 子
副館長	荻 原 圭 一	職員 (学芸)	飯 島 祥 平
課長補佐 (学芸)	大 杉 浩 司	嘱託職員 (学芸)	木 下 紗 耶 子
担当係長 (管理)	西 泉 壮 一	嘱託職員 (普及企画)	橋 本 文 恵
担当係長 (学芸)	佐 々 木 秀 憲	嘱託職員 (普及企画)	高 野 英 江
担当係長 (普及企画)	佐 藤 玲 子	嘱託職員 (普及企画)	北 川 裕 介
主任 (学芸)	片 岡 香		

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

1. 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

2. 美術館事業内容

収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

調査研究

- ・ 岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・ 美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・ 美術館の普及活動における調査研究。

展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年 4 回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年 4 回の割合で行います。

情報・出版

情報コーナーとガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての情報や映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

普 及

子供から成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

3. 美術館沿革

平成 3 年 4 月 川崎市市民ミュージアム「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11 月 岡本太郎氏の所有する主要作品 352 点が寄贈される(第一次)

平成 5 年 1 月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品 1427 点が追加寄贈される(第二次)

4 月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアム「TARO 万華鏡」展開催

- 平成 6 年 4 月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更
- 平成 7 年 11 月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成 8 年 1 月 岡本太郎 逝去（享年 84 歳）
- 6 月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11 月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成 9 年 9 月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成 10 年 5 月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成 11 年 2 月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期 2 年 3 ヶ月）
- 4 月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更
村田慶之輔氏が館長に就任
シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10 月 川崎市岡本太郎美術館開館
開館記念展「多面体・岡本太郎—哄笑するダイナミズム—」展開催
- 平成 15 年 4 月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料 1,827 点が寄贈される（第三次）
- 平成 16 年 3 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》設置
- 4 月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展（2003 年）より、第 35 回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10 月 開館 5 周年記念「テレビ発掘まる裸の太郎展」開催
- 平成 17 年 3 月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成 18 年 2 月 入館者 50 万人達成
- 平成 21 年 4 月 開館 10 周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成 23 年 2 月 岡本太郎生誕 100 年 誕生日記念イベント開催
- 3 月 東京国立近代美術館で「生誕 100 年 岡本太郎」展開催
- 4 月 「生誕 100 年人間・岡本太郎展」開催
- 10 月 岡本太郎生誕 100 年記念イベント ダンス公演「TARO と踊ろう！」開催
- 平成 24 年 3 月 入館者 100 万人達成
- 4 月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成 25 年 3 月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成 26 年 3 月 生田緑地西口園路開通
- 7 月 川崎市制 90 周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」展
- 10 月 開館 15 周年記念展「TARO 賞の作家Ⅱ」展開催
- 11 月 開館 15 周年記念イベント「TARO 祭り」開催
- 平成 27 年 2 月 《母の塔》補修工事完了
- 4 月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6 月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
- 10 月 川崎市文化芸術振興会議施設部会設置

4. 施設・設備概要

常設展示室 (1,026 m²)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅が始まるのです。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



企画展示室 (828 m²)

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m²の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。



母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・・・1971 年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬） 径 2m、7 本
- 外装・・・・・・外殻 GRC クラッシュパネル
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRP ブロンズ仕上 16 体 H=3.0~5.6m
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・・・照明設備、避雷



V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

1. 条例

(目的及び設置)

第 1 条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形 7 丁目 1 番 5 号とする。

(事業)

第 3 条 美術館は、第 1 条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第 4 条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第 5 条 市長は、法人その他の団体であつて次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第 1 項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第 6 条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 7 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第 8 条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前 2 号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第 9 条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第 1 に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第 10 条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第 2 に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第 11 条 市長は、第 3 条第 4 号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、特に必要があると認めるときは、第 9 条に規定する観覧料及び第 10 条第 2 項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第 13 条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第 14 条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第 15 条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 16 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成 11 年 6 月 30 日規則第 69 号で平成 11 年 10 月 30 日から施行)

附 則 (平成 12 年 12 月 21 日条例第 79 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 9 月 30 日条例第 88 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 12 月 14 日条例第 77 号)

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 3 月 20 日条例第 18 号抄)

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 10 月 9 日条例第 47 号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成 19 年法律第 96 号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則 (平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

- (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
- (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
- (3) 川崎市体育館条例
- (4) 川崎市スポーツセンター条例
- (5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則 (平成 24 年 3 月 19 日条例第 4 号)

この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条の次に 4 条を加える改正規定(第 5 条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第 12 条の改正規定(同条を第 16 条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日
- (2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日
- (3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日
- (4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日
- (5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日
- (6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日
- (7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日
- (8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日
- (9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則 (平成 28 年 3 月 24 日条例第 30 号)

この条例は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 9 条関係)

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び 65 歳以上の者	300 円	1 人につき 240 円
一般	500 円	1 人につき 400 円

備考

- 1 団体とは、20 人以上をいう。
- 2 学齢に達しない者及び学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 1 条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。
- 3 高校生・大学生とは、法第 1 条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第 124 条に規定する専修学校、法第 134 条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。
- 4 一般とは、前 2 項に規定する者及び 65 歳以上の者以外の者

をいう。

5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1 人につき 2,000 円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100 円券 12 枚つづり	1,000 円
100 円券 25 枚つづり	2,000 円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20 人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

(1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市市民ミュージアム条例（昭和 62 年川崎市条例第 45 号）に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例（昭和 46 年川崎市条例第 24 号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例（昭和 42 年川崎市条例第 19 号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000 円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第 2（第 10 条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1 点 1 日	200 円
模写		1,000 円
模造		1,000 円
撮影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

2. 条例施行規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例（平成 11 年川崎市条例第 25 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第 2 条 市長は、条例第 5 条第 1 項の規定により川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

(1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地

(2) 条例第 5 条第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲

(3) 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）

(4) 条例第 5 条第 2 項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項（事業計画書等の提出）

第 3 条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第 5 条第 2 項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

(1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書

(2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）

(3) 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。

(4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書

(5) 役員の名簿及び履歴書

(6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類

(7) 現に行っている業務の概要を記載した書類

(8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類（指定管理予定者）

第 4 条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 2 以上あるときは、条例第 5 条第 1 項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

(1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。

(2) 美術館の広報活動に関すること。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 1 である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第 1 項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前 2 項の指定管理予定者がないときは、再度、第 2 条の規定による公告を行う。

(通知)

第5条 市長は、条例第5条第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第1号様式）により通知する。

（協定）

第6条 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項

(4) 管理の業務の報告に関する事項

(5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項

(6) 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項

(7) その他市長が必要と認める事項

（事務の委任）

第7条 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

(1) 条例第10条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。

(2) 条例第12条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。

(3) 条例第13条の規定による観覧料等の還付に関すること。

（観覧券等の交付）

第8条 館長は、条例第9条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

（特別入場券）

第9条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

（特別利用の申請等）

第10条 条例第10条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第2号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第3号様式）を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を

付することができる。

(1) 条例第3条第1号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。

(2) 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。

(3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。

(4) その他館長が必要と認める事項

（特別利用の不許可）

第11条 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

(1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの

(2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの

(3) 著作権が存する美術作品等で著作権者の同意を得ていないもの

(4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

（観覧料等の減免）

第12条 条例第12条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神

保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第 1 号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあつては観覧料減免申請書（第 4 号様式）を、前項第 2 号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあつては特別利用料減免申請書（第 5 号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第 1 号ウの場合にあつては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあつては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。（観覧料等の還付）

第 13 条 条例第 13 条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額

(2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額

(3) 前 2 号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

第 14 条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。

(3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。

(4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(委任)

第 15 条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局

長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成 11 年川崎市教育委員会規則第 7 号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則（平成 25 年 3 月 29 日規則第 26 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則（平成 27 年 5 月 27 日規則第 49 号）

この規則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

規 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 25 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

第 1 号様式

第 2 号様式

第 3 号様式

第 4 号様式

第 5 号様式

平成 28 年度

川崎市岡本太郎美術館年報

2017 年 9 月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区柝形 7-1-5

TEL 044-900-9898

印刷　／日本プロセス株式会社

TARO OKAMOTO
MUSEUM OF ART
KAWASAKI